

医京

No.2257

令和5年11月15日

報都

11.15
2023
November

毎月2回（1日・15日）発行 購読料・年6,000円

KYOTO

第49回京都医学会を開催

目次

2 第49回京都医学会を開催

8 健やか親子21 内閣府特命担当大臣表彰

9 医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ

10 京都医学会雑誌71巻1号 原稿募集中

12 委員会だより

15 京都医学史研究会 医学史コーナー

17 地区だより

18 京都医家芸術クラブ 活動報告

22 集いの部屋 ・医師テニス

24 おしらせ

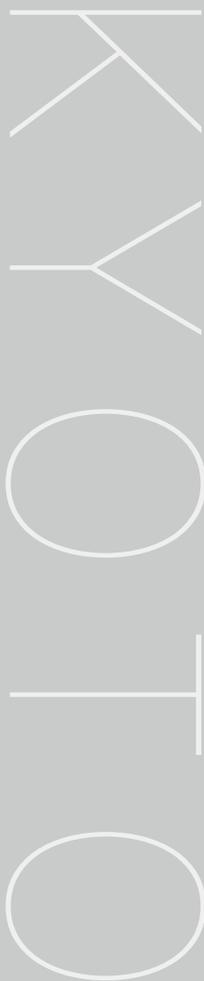
・京都府糖尿病対策推進講習会開催のご案内

・日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度DVD研修会
開催のご案内

・死体検案研修会（上級）の開催について（お知らせ）

30 会員消息

31 理事会だより



付 録

保険だより

- 1 麻薬新免許証の交付について
- 2 10月以降の新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱いに係る疑義解釈について
- 2 新型コロナウイルス検査等に係るQ&Aについて
- 3 自賠責研修会の開催について WEB動画形式
- 4 日医「オンライン診療についての事例ご報告」へのご協力について（お願い）
- 4 指定訪問看護ステーション向けオンライン資格確認ポータルサイト開設等について
- 5 人免疫グロブリン製剤の限定出荷と今後の見込みについて
- 6 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について
10月1日から

保険医療部通信

- 1 令和4年4月診療報酬改定について

地域医療部通信

- 1 脳卒中登録にご協力を！
- 3 京都府からのお知らせ
全国がん登録の届出は12月末までです。
- 5 京都府立医科大学附属病院・京都府医師会共催
「地域連携の集い」— 地域全体が集結する医療のために —
- 7 第2回 JMAT 京都研修会開催のご案内

京都市（乙訓2市1町）病院群輪番編成表

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター通信

- 1 第3回 総合診療力向上講座「緩和ケアの実際」のご案内
- 3 第3回 「京都在宅医療塾 探究編」のご案内
- 5 第2回 「総合診療力向上講座」オンデマンド配信のご案内

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 認知症対策通信

- 1 認知症対応力向上多職種協働研修会（右京）開催のご案内
- 4 かかりつけ医認知症対応力向上研修（Web開催）開催のご案内

第49回京都医学会を開催

今年49回目となる京都医学会を、9月24日(日)に開催。今回は4年ぶりに現地参加いただける形で開催し、会場に賑わいが戻った。

10月22日までアーカイブ配信も行い、全体を通して延べ534名の医師・医療関係者が参加した。

一般演題・初期研修医セッション

第49回京都医学会はハイブリッド形式で行われ、現地160名の参加と、Webのlive配信で284名の参加者を数え、さらに1ヶ月間のアーカイブ配信が行われた。午前は4会場に分かれての口演、午後はメイン会場での特別講演・シンポジウムという構成であった。特別講演・シンポジウムは「医療DX」をテーマにおき、各領域のトップランナーに講演いただいた。来たるべきDXの波に立ち向かうヒントが得られるセッションになったと思われる。

今回の京都医学会では、会員の学術研鑽の場としての本来の目的はもちろんのこと、これからの世代である研修医や若手医師に向けて、「Re-1グランプリ」と「臨床研究道場」が特別企画された。「Re-1グランプリ」では、京都府が誇る7人の魅力溢れる指導医達によって、最強指導医の座をめぐり熱いレクチャー合戦が展開され、「臨床研究道場」では、研究・統計の専門家(京都大学医学研究科人間健康科学系専攻比良野特定助教)により、学会発表・論文作成のスキルについて密度の濃い個人指導が行われた。いずれの新企画も好評で、学会全体を活気づける効果があったように思われる。

一般口演には、例年どおり勤務医師・診療所医師から多数の応募があり、一般演題50題、初期研修医セッション7題の計57題が採択された。研修医セッション以外の演題内訳は、腎・尿路系9題、消化器系8題、脳神経系7題、耳鼻咽喉系5題、内分泌・代謝系4題、循環器系3題、呼吸

器系2題などで、それぞれの領域について、府医学術・生涯教育委員会委員に座長をお願いした。昨年までの入場者制限は撤廃され、活発な質疑に予定時間から進行が遅延する会場もあった。議論を引き出しながら円滑な進行に苦心いただいた座長の先生方にこの場を借りて感謝申し上げる次第である。ポスターセッションは、コロナ禍感染対策の継続として今年も設けられなかったが、ポスター前での距離の近い質疑応答を熱望する声も多くなっている。開催形式について検討が必要な時期であろう。

来年、京都医学会は記念すべき50回目の開催を迎える。第49回参加者からのアンケート結果を踏まえ、会員の学術活動興隆の一助として有意義な学会となるよう、現在、学術・生涯教育委員会の先生方に企画検討いただいているところである。会員皆様には、第50回京都医学会にも、多数の演題応募と会場参加を是非ともお願いしたい。

(学術生涯教育担当理事 尾池 文隆 記)



一般演題

特別講演

少子高齢化が進む我が国において、国民の健康増進や質の高い医療を提供するため、さらに新型コロナウイルス感染症のパンデミックの経験から次の感染症危機への迅速な対応を構築するためにはDX (Digital Transformation) を推進することが求められている。

2022年6月に閣議決定された「骨太方針2022」では、全国医療情報プラットフォームの創設、電子カルテ情報の標準化等、診療情報改定DXが3つの柱とされ、同年10月に総理を本部長とする医療DX推進本部が設置された。

講演では初めに日医IT化宣言2016と国の進める医療DXの関係について述べられた。日医は、オンライン資格確認等システムのネットワークを拡充し医療・介護情報を共有する全国医療情報プラットフォームについて、安全・安心でより質の高い医療提供が可能になることから全面的に協力するとしている。また電子処方箋発行に必要なHPKIカード（医師資格証）の発行を急ぐこと、PHR (Personal Health Record) については患者がかかりつけ医とともに活用することが有用であると提言している。さらに、国が進める電子カルテの標準化、標準型電子カルテの提供に対応すべく、日医標準レセプトソフト (ORCA) をバージョンアップしさらなる普及をはかるとしている。ところで、海外の状況はどうかと言うと、イスラエルは技術革新が国家存続、民族存続のため

に必須であるとの考えから、エストニアは旧ソビエト連邦から独立した経緯があり、再びロシアに占領された時にe-エストニア国として存続をはかるためにDX推進に成功しているとのことであった。これらは国の置かれた事情から成功



原 祐一 先生



座長 西村 俊一郎 先生

した例である。一方、うまく行っていない例として、フランスの取り組みを紹介された。フランスでは2010年にDMP（共通医療記録）がスタートしている。DMPには既往歴、現在治療中の疾患名、服用中の薬剤名、アレルギーなど14項目を自分で入力することができる。しかしながら2014年の実績数は約40万人（全人口6,700万人）と低調なため、2022年から自身のDMPの開設に反対意思を表明した人を除き、全国民のDMPが自動的に作られる「オプトアウト方式」にしたが、開設されても国民の多くはその必要性を感じておらず、実質利用率は数%でしかないとのことであった。

今後、我が国で医療DXが進んだ場合、診療報酬体系の変更、多量の情報処理のためのAI活用が必要になること、オンライン診療によって生活習慣病の診療が変化すること、電子処方箋の普及により処方薬の宅配と調剤薬局の統廃合が起こる可能性があることなどについて言及された。最後に、日本で成功させるためには、イスラエル、エストニアのように国にとって有益となるような高次目標を構築すること、現状ではできないがデジタル化によって達成できる内容を明確に示すこと、またそのことに対する国民的な同意を得ること、DXを達成するための費用を政府が支出することを約束する必要があると述べられ、さらに日本が最先端のものを世界に発信していくという意識を持って国民が一丸となって協力することが重要であると締めくくられた。

(学術・生涯教育委員会委員長 西村俊一郎 記)

シンポジウム

DXとは、デジタル技術を用いて人々の生活をより良いものへと変えていく取組みを指し、デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation) の略である。医療のなかにDXがいろいろな形で普及し始めている。特にCOVID-19蔓延の状況における診療の制限が、DXの普及に一役かったことは間違いなく、遠隔による手術や患者モニタリング、アプリケーション

ンを用いての健康管理など医療業界にDXがすこしずつ浸透してきている。本シンポジウムではいろいろな立場から実際にDXを医療現場で実践されている先生がたにご講演いただくことで医療におけるDXの現状と未来について討議した。

まず、外科の立場から京都大学産婦人科教授の万代先生からご講演をいただいた。主な外科手術の原型は全身麻酔が導入されてからの100年程度の間確立され、現在に至るが、20世紀末に腹腔鏡手術が導入されて、一気に外科手術は変化を

遂げた。腹腔鏡手術はもともと低侵襲手術として開発され、当初は開腹術より制限が多くリスクも高かったが、機器の改良とともに拡大視野で丁寧な手術が可能となり出血量や手術成績自体も開腹術を凌ぐようになってきている。また腹腔鏡に20年遅



万代 昌紀 先生

れて導入されたロボット手術は昨今急速に進歩した。両者はともに低侵襲手術に分類されるが、本質的に異なり、前者は画面を見ながら術者が鉗子を直接操作するのに対し、ロボット手術では離れた位置にいる術者が患者の腹腔内をモニターで見ながら、コンピューターを介してロボットの操作を行うものである。コンピューターの介在手術としての面が今後の発展につながる可能性を秘め、その一つの例が遠隔手術である。医師の少ない僻地においても遠隔地から指示をすることでロボット手術が行える可能性がある。技術的な問題（物理的距離による画像送付のおくれなど）はデジタル技術の進歩により革新的な改善を遂げていることが提示され、日本外科学会を中心に本格的な遠隔手術の導入を目指した実証実験が繰り返されていることなどが示された。

また、バーチャル手術教育についても触れられ、様々な精度の高い手術教材の開発によりよりリア



統括 白石 裕一 先生

ルなモデルを用いた教育が行えるようになったことで患者に負担をかけることなく手術教育を行うことが可能となりつつあることが示された。

DXの進歩が外科の手術の現場においても大きな役割を果たし、今後の発展がますます期待できると考えられた。

つづいて、慢性疾患における管理に遠隔的なモニタリングの有用性を提案

する内容で内科の立場から二つの演題が話された。一つ目は糖尿病の治療におけるDXの役割について京都府立医科大学内分泌代謝内科学の濱口真英先生からご講演いただいた。米国糖尿病学会の2022-23年のConsensusStatements



濱口 真英 先生

でデジタルデバイスや人工知能を用いた診療の有用性に関する論文が多数引用されており、COVID-19のパンデミックにおいても遠隔診療の有用性に関する報告が相次いでいること、また、府立医大の糖尿病外来におけるデジタルデバイスを用いた患者管理について報告いただき、特に持続性血糖モニタリングを行う症例における血糖管理における有用性が示された。

また現行の保険制度におけるデジタルデバイスを用いた診療に関する解釈についても触れられた。本邦では医薬品医療機器統合機構（PMDA）が医療機器プログラム（SaMD）として医療保険に関する相談をうけているが、SaMDとして薬事承認されているデジタルデバイスは限られていて、糖尿病治療においてはまだ存在しない。一方でNonSaMDと呼ばれる健康ソフトウェアは多数存在する。これからこのようなデバイスやソフト

ウェアが社会実装されていくためには保険の整備などの取り組みが必要であることなどについて述べられた。

最後に洛和会音羽病院の栗本律子先生から京都府立医科大学循環器内科の関連病院を中心として行われて



栗本 律子 先生

いる京都心不全ネットワーク協議会の取組みについてご説明をいただいた。近年、高齢化にともない慢性心不全患者が増加しており心不全パンデミックと呼ばれている。再入院を繰り返しながら進行している経過をたどるため再入院の予防は心不全診療の重要な目標の一つである。心不全診療における多職種連携（チーム医療）の重要性は言うまでもないが、地域全体としてチーム医療の質を高めていくことが重要で、どの病院に入院しても均質な治療を受けられるようなシステムづくりが必要である。京都の心不全予後改善を図る目的で2019年8月に京都心不全ネットワークが発足し、現在京都府内24病院と循環器内科を標榜する15クリニックが参加している。

共通の患者指導ツールである心不全手帳についてご紹介され、患者のセルフモニタリングと、それを踏まえた受診行動の重要性について触れられ、心不全ポイントを用いた管理について述べられた。また適切な受診行動につなげるために、できるだけリアルタイムに医療者が状態把握することの重要性、それを実現するためのICTの利用について府医の協力を得てWEB版の心不全手帳の運用についても述べられた。

最後に主たるモニタリングの指標である体重、心電図、症状に着目してオムロンヘルスケアとの共同研究の一端についても触れられ、できるだけ自動的に患者をモニタリングするシステム、ひいてはその結果を踏まえたマネジリングがDXにより実現可能となることが望まれるとした。

最終討論で、医療DXにおける問題点（患者のデジタルリテラシー、個人情報保護、保険収載までの期間における介入システムのコストなど）



ディスカッション

を含めた複数の問題について議論がなされ、今後の医療DXの発展を地域でも支援していくことに合意を得て終了となった。

それぞれの立場から医療DXにおける現状や問題点に触れていただき大変参考になる講演であったことを述べて、まとめとしたい。

(学術・生涯教育委員会 委員 白石 裕一 記)

Re-1グランプリ

今年度、新たな企画として、若手医師、勤務医、開業医の交流の一環となるよう「Re-1グランプリ」、「臨床研究道場」を実施した。

Re-1グランプリは、「京都府が誇るエース指導医が〇〇を学び直してみた」をテーマに掲げ、研修医への教育のみならず、若手指導医自身が学び直しを行う企画である。工夫を凝らしたレクチャーとユニークな演出に、会場では立ち見が出るほど盛況となった。オンラインでも多くの視聴があり、オンライン投票による“最もよかったレクチャーを行った指導医”には京都第二赤十字病院の瀧上雅雄先生が選ばれ、松井府医会長から「教育情熱賞」が贈られた。

司会：京都府立医科大学 松原 慎氏
舞鶴医療センター 松村うつき氏

- ベストティーチャー賞受賞経験のある救急医がここにきて「学び方」について学びなおしてみた
京都第一赤十字病院 救急科 岡田 信長氏
- 長岡京市民の健康を守る Genespelist である腎臓内科医がここにきて「造影剤腎症ってホンマにあるの？」について学び直してみた
京都済生会病院 腎臓内科 原 将之氏
- 丹後の地域住民の健康と内視鏡と天候を愛する総合診療医がここにきて「common diseaseとしての鉄欠乏性貧血」について学び直してみた
京丹後市立弥栄病院 内科 大阿久達郎氏



Re-1グランプリ

- 米国内科学会日本支部 Resident-Fellow Committee 委員長である感染症科医がここに来て「エビデンスに基づく感染症の“最短”治療期間」について学び直してみた
 洛和会音羽病院 感染症科 堀田 巨馬氏
- 有名ブログ「リウマチ膠原病徒然日記」の著者である免疫膠原病内科医がここに来て「ステロイド」について学び直してみた
 京都大学医学部附属病院 免疫膠原病内科 吉田 常恭氏
- 施設年間 PCI454 件、カテーテル大好きな循環器内科医がここに来て「カテーテル以外の循環器診療」について学び直してみた
 京都第二赤十字病院 循環器内科 瀧上 雅雄氏
- 法医学の解剖資格をもって臨床医に転向した若手内科医がここに来て「感染症診療の原則」について学び直してみた
 京都府立医科大学附属北部医療センター 総合診療科 坪井 創氏
 (臨床研修担当理事 加藤 則人 記)

臨床研究道場

臨床研究道場は、研究や学会発表、論文作成といった学術活動を支援する試みで、京都大学人間健康科学系専攻 臨床研究開発学 特定助教の比良

野圭太先生が研究立案や解析、解釈のポイントについてマンツーマンでサポートした。

当日は、臨床研究等の指導を受ける機会を持ちにくい開業医やへき地医療に携わる医師、臨床研究に課題を感じている勤務医などが受講し、受講者の感想からは満足度の高さがうかがえた。

今後も、会員の学術活動支援の一環として、また若手医師のリサーチマインドの育成に少しでも寄与できるよう、このような機会を設けていくことを模索したい。

(臨床研修担当理事 堀田 祐馬 記)



臨床研究道場

学術賞・学術研鑽賞の表彰

松井府医会長の挨拶に続いて、令和5年度学術賞および学術研鑽賞の表彰が行われた。

京都府医師会学術賞は過去1年間に「京都医学会雑誌」に掲載された一般応募論文の中から、学術・生涯教育委員会委員

と勤務医部会正副幹事長の投票によって選定された論文に授与されるものである。1位論文1編に30万円、2位論文1編に20万円、3位論文1編に10万円、症例報告賞1編に10万円、新人賞5編に5万円の賞金と賞状が授与された。学術研鑽賞は前年度中に学術講演会等に率先して出席し、日医生涯教育講座の取得単位数の多い会員を表彰



松井府医会長

するもので、京都市内および乙訓・宇治久世会員は70単位以上、亀岡市、南部（綴喜・相楽）、北部（船井・綾部・福知山・舞鶴・与謝・北丹）地区会員は50単位以上の取得者を対象とし、京都市内・乙訓・宇治久世より40名、北部より11名、南部より5名の計56名が選ばれた。

学術賞および学術研鑽賞の受賞者は以下のとおり。
（敬称略・所属は当時のもの）

学術賞

原著論文賞 1位

- ◆「COVID-19感染症の第6波流行期における発熱外来受診患者の病態検討〔行動制限とワクチン接種、およびモルヌピラビル（ラゲブリオ[®]カプセル）内服治療の影響評価〕」

医療法人仏光会 小西仏光寺診療所

小西 正則

原著論文賞 2位

- ◆「当院における新型コロナ（COVID-19）診療体制の構築とECMO（体外式膜型人工肺）管理を要した16例を含む重症患者の治療経験」

宇治徳洲会病院 松岡 俊三

篠塚 淳，千原 佑介，三木 健児，
山西 正芳，自閑 昌彦，嘉祥 敬国，
畑 倫明，福井 道彦，徳山 良之，
久保田良浩，末吉 敦

原著論文賞 3位

- ◆「入浴中浴槽内死亡例における死後画像診断 Ai（Autopsy imaging）」

陶山医院 陶山 芳一

症例報告賞

- ◆「当院における成人の急性巣状細菌性腎炎4例の検討」

同志社山手病院 高橋 里奈

近江園善一，西尾 学，古川 啓三，
田添 潤

新人賞

- ◆「糖代謝異常合併妊娠の後方視的検討」

京都医療センター 北野 照

江本 郁子，後藤 禎人，田中 有紀，
市川 尚寛，住永 優里，西川 晶子，
岸本 尚也，露木 大地，天野 泰彰，
安彦 郁

- ◆「肺水腫を合併した双胎妊娠の2症例」

宇治徳洲会病院 若園 依未

青木 昭和，黒瀬 苑水，笹森 博貴，
岩田 隆一，富田 純子，高原 得栄，
河辺 公志，横田 浩美，高田 秀一

- ◆「がん救急管理を要した重症合併症を伴う子宮体癌の1例」

宇治徳洲会病院 人見 遥平

三木 健児，高原 得栄，河邊 公志，
横田 浩美，竹田 智浩，福井 道彦

- ◆「卵巣腫瘍合併妊娠に対して上腹部diamond配置で腹腔鏡手術を施行した3例」

京都医療センター 市川 尚寛

田中 有紀，西川 晶子，住永 優里，
北野 照，岸本 尚也，露木 大地，
江本 郁子，天野 泰彰，安彦 郁

- ◆「Campylobacter jejuni/coliによる化膿性脊椎炎の一例」

洛和会音羽病院 上原 和太

田中 孟，谷口 洋貴



表彰

—— 学術研鑽賞 ——

京都市内・乙訓・宇治久世

森島 正樹 (中 西), 赤城 格 (山 科)
赤城 光代 (山 科), 今林 丈士 (宇 久)
伝 俊秋 (左 京), 細谷 泰久 (左 京)
田中 進治 (中 西), 岡江 俊二 (右 京)
大林 敬二 (伏 見), 上田 通章 (宇 久)
川喜多繁誠 (下 東), 落合 淳 (伏 見)
長谷川雅昭 (宇 久), 福田 昌義 (山 科)
景山 精二 (右 京), 島田 正 (宇 久)
山下 琢 (下 西), 西尾 雅年 (伏 見)
矢野 豊 (伏 見), 竹中 健 (西 陣)
松山 南律 (伏 見), 畑 幸一 (乙 訓)
大森 浩二 (下 西), 十倉 孝臣 (左 京)
谷澤 伸一 (山 科), 古知貴恵子 (山 科)
佐々木善二 (伏 見), 林 誠 (西 陣)
野見山世司 (中 西), 中川 卓雄 (伏 見)

辻 俊明 (西 陣), 藤田 祝子 (下 西)
西川 昌之 (左 京), 若林 寛二 (山 科)
松原 英俊 (下 西), 杉原みどり (西 陣)
神山 秀三 (右 京), 畔柳 彰 (下 西)
塚田 英昭 (西 陣), 太田 光彦 (伏 見)

北部 (船井・綾部・福知山・舞鶴・与謝・北丹)

西村 茂 (福知山), 肥後 孝 (舞 鶴)
池田 義和 (北 丹), 富阪 静子 (福知山)
松山 徹 (福知山), 竹下 一成 (福知山)
宮地 高弘 (与 謝), 木村 茂 (船 井)
味見 真弓 (与 謝), 中江 龍仁 (北 丹)
高塚光二郎 (舞 鶴)

南部 (綴喜・相楽)

黒田 雅昭 (相 楽), 飯田 泰啓 (相 楽)
飯田 泰子 (相 楽), 山口 泰司 (相 楽)
三好 雅美 (綴 喜)

令和5年度

健やか親子 21 内閣府特命担当大臣表彰

長谷川 功 氏 (京都市西陣) が受賞

このたび、長谷川功氏 (京都市西陣) が健やか親子 21 内閣府特命担当大臣表彰を受賞されました。

先生のご受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ

各医療機関におかれましては、万が一、対象となる死亡事案が発生した際には、適切な対応をお願いするとともに、京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会（窓口：府医）にご相談ください。

医療事故調査・支援センター（一社）日本医療安全調査機構

- 医療事故 相談専用ダイヤル 03-3434-1110
- 対応時間 午前7時～午後11時
- URL <http://www.medsafe.or.jp/>

京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会（一社）京都府医師会 医療安全課

- 専用電話 075-354-6355
- 対応日時 午前9時30分～午後5時30分
（※休日・夜間については、医療事故調査・支援センターで対応）
- メールアドレス jikocho@kyoto.med.or.jp
- URL <https://www.kyoto.med.or.jp/ma/>
- 相談内容 ①制度概要に関する相談
②事故判断への相談
③院内事故調査への技術的支援
(1)外部委員の派遣 (2)報告書作成支援 (3)解剖・Ai 実施支援

京都府医師会医療事故調査支援団体連絡協議会 動画配信のご案内

協議会のWEBサイトにて、以下の動画を配信しています。

医療事故調査制度における疑問にお答えする形で、これまでに寄せられた質問を中心に、京都府医師会：松村由美理事が疑問にお答えします。是非、ご覧ください。



■ 内 容

1. 対象事案かどうかの判断について
 - (1) 医療事故調査制度が検討されたきっかけ
 - (2) “予期しない患者死亡事案”への2つの対応
 - (3) 米国 ベン・コルブ君(7歳)死亡事例(1995年)
2. 事故発生時に対処しなければならない内容は
3. センターへの報告はどうすればよいか
4. センター報告後の自院での動きは
 - (1) 調査報告書（案）前半部分を準備する
5. 院内事故調査委員会の運営について
6. 調査報告書の作成について
7. ご遺族への調査結果説明について
8. その他
9. 他の医療機関はどうやって取組んでいるのだろうか？

京都医学会雑誌 71 巻 1 号 原稿募集中

令和 6 年度京都府医師会学術賞の選考対象になります

2024 年 4 月に発行予定の京都医学会雑誌第 71 巻 1 号の原稿を募集しております。掲載論文は「令和 6 年度京都府医師会学術賞」の選考対象になります。

また、研修医・専攻医（卒後 5 年以内）の方は、新人賞の対象となりますので、奮ってご応募ください。掲載された論文のすべてが、投稿奨励賞の対象となります。

◇ 締 切

令和 5 年 (2023 年) 11 月 30 日(木) 必着

※締切後に投稿された論文は、次号 (71 巻 2 号) での受付となります。

◇ 字 数

総説・原著論文 = 12,000 字以内 (図・表を含む)

症例報告 = 6,000 字以内 (図・表を含む)

注：図・表は 1 枚 300 字とみなします。

※字数を超えての投稿は原則、受け付けることができませんので、ご注意ください。

◇ 投稿先

〒 604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町 6

一般社団法人京都府医師会 学術生涯研修課

◇ 投稿物

①原稿・・・原本 1 部とデータ (USB または CD)

※原稿の末尾には利益相反の有無を必ず記載ください

②自己申告における COI 報告書

③投稿チェックリスト

注：上記 3 点を必ずご投稿ください。不備がある場合は受付ができない場合があります。

◇ 投稿・編集規則

京都医報 11 月 1 日号付録または府医 HP < https://www.kyoto.med.or.jp/medical_dissertation/index.html > よりダウンロードできる投稿・編集規則に則って論文をご執筆ください。

◇利益相反

京都医報 11 月 1 日号付録または府医 HP < https://www.kyoto.med.or.jp/medical_dissertation/index.html > よりダウンロードできる別紙様式（京都医学会雑誌：自己申告による COI 報告書）にて申告し、掲載論文の末尾に利益相反の有無を記載してください。

<記載例>

（利益相反がない場合）本論文に関し、開示すべき利益相反状態はない。

（利益相反がある場合）この研究の○%は×××からの支援により行った。

◇倫理規定

倫理面に最大限配慮し、投稿ください。

◇投稿の際の注意点

①論文の種類

「総説」または「原著論文」、「症例報告」どれに該当するか明示してください。

②研修医・専攻医

研修医・専攻医（卒後5年以内）の方は、その旨を必ず記載してください。

◇京都府医師会学術賞

（1）賞の種類

①原著論文賞＝原著論文の中から優秀な論文に与えられる賞。

②症例報告賞＝1～数例の報告論文が対象。

少数例の症例報告でも優秀な論文を評価するために設けられた賞。

③新人賞＝研修医・専攻医（卒後5年以内）が対象。

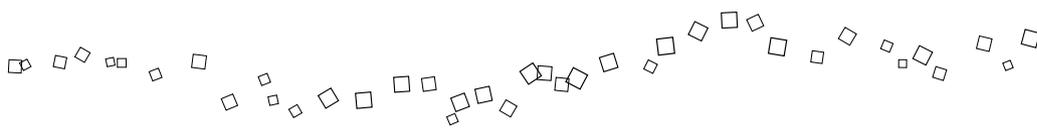
若手会員の論文発表を評価するために設けられた賞。

（2）賞金総額：100万円（予定）

必ず、投稿・編集規則に則ってご投稿ください（規則に則っていない論文は受け付けることができない場合がありますのでご了承ください）。

また、チェックリストにつきましても、投稿前に必ずチェックの上、原稿に同封してください。

委員会 だより



医師のワークライフバランス委員会

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 秋山 鹿子 (京都第二赤十字病院) | ○衛藤 美穂 (足立病院) |
| 瀬古 彩 (京都市立病院) | 若園 吉裕 (京都桂病院) |
| 沢田 尚久 (京都第一赤十字病院) | 徳永千恵美 (洛和会音羽病院) |
| ◎小田垣孝雄 (京都医療センター) | ○中前恵一郎 (医仁会武田総合病院) |
| 石原 潔 (京都山城総合医療センター) | 松村うつき (舞鶴医療センター) |
| 南口早智子 (京都大学医学部附属病院) | 片岡 仁美 (京都大学医学部附属病院) |
| 牛込 恵美 (京都府立医科大学附属病院) | |

(敬称略, 順不同, ◎=委員長, ○=副委員長)

担当副会長 禹 満 / 担当理事 堀田 祐馬・上田 三穂

若手医師への支援策について

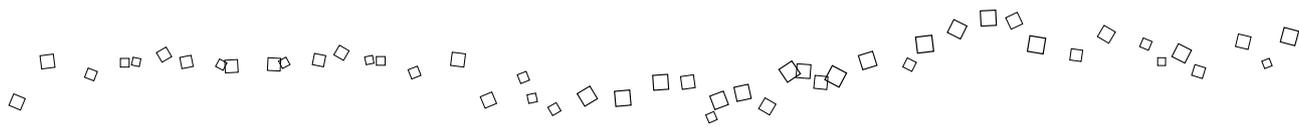
10月16日(月)に第1回医師のワークライフバランス委員会が開催された。

冒頭、禹府医副会長が挨拶に立ち、医療界の目前に迫る課題として医師の働き方改革を挙げ、十分な協議を行うはずであった5年間のうち3年間は新型コロナウイルス感染症対策のために医療機関が翻弄され、現場の勤務医の意見が十分に反映されているか疑問であるとした上で、本委員会では、若手医師のための妊娠・出産・子育て支援に係る検討に加え、医師の働き方改革については、現場で実働する勤務医の率直な意見を吸い上げて委員会で取りまとめ、府医から地域医療構想調整

会議等の場で現場の声を伝えられるのではないかと述べ、活発な意見交換を依頼した。

今期委員会は13名で構成され、委員長には小田垣孝雄氏(京都医療センター)、副委員長には衛藤美穂氏(足立病院)、中前恵一郎氏(医仁会武田総合病院)が選出された。

その後の協議では、委員会企画の4つの柱である「子育て医師の会」、「ワークライフバランス塾」、「妊娠に際し職場のみんなで読むマニュアル」、「子育てサポートセンター」の事業は継続して行うとして、研修会の企画などについて議論を行った。



肺がん対策委員会

鈴木 克洋 (中京西部)	有本太一郎 (中京西部)	安田 雄司 (下京西部)
川上 明 (下京西部)	阿部俊太郎 (左京)	○榎堀 徹 (山科)
三尾 直士 (伏見)	張田 幸 (乙訓)	新田 哲久 (宇治久世)
中所 英樹 (綴喜)	◎下山 恵司 (福知山)	高山 浩一 (府医大)

(敬称略, 順不同, ◎=委員長, ○=副委員長)

担当副会長 谷口 洋子 / 担当理事 小柳津治樹・田村 耕一

肺がん検診の円滑な運営と受診率、精度の向上を目指して

10月18日(水), 第1回の肺がん対策委員会が開催された。

冒頭, 松井府医会長が挨拶に立ち, 委員就任への謝辞が述べられた。

今期の委員会は12名の委員で構成され, 委員の互選により前期に続き委員長には下山恵司氏(福知山), 副委員長には榎堀徹氏(山科)が選出された。また, 京都府, 京都市, 京都予防医学センター, システム担当のPSP社がオブザーバーとして出席した。

続いて, 京都予防医学センターと府医事務局より肺がん検診の実施状況を報告。2022年度は多くの市町村においてコロナ禍で落ち込んだ受診者数が回復し, 府全体のがんの発見率は日本肺癌学会の指標値0.03を上回る0.1(発見数67件)に

達した。

一方, コロナ禍以降, 小学校での集団検診が中止されている京都市においては, 受診者数が半数程度に落ち込んでおり, 受診率の回復が喫緊の課題となっている。委員会としては, より多くの市民に受診いただくため個別医療機関での胸部レントゲン検診の実施を提案しているが, 実施に向けて一番のハードルは予算の確保であり, 京都市には強く予算化を要望した。その他, 精度管理などの課題についても, 引続き委員会で検討していくことを確認した。

今期の委員会では, 前期委員会からの継続課題である読影支援システムの運用について検討するとともに, 肺がん検診の円滑な運営, 受診率と精度の向上を目指し議論を続けていく。

府医会館会議室の利用について

府医会館会議室の利用を希望される場合は、府医総務課に予約状況等を直接ご確認ください。追って申込用紙（使用許可願）を送付いたします。

- ※・盆休み（8月15日・16日）、年末年始（12月29日～1月4日）は休館日となり、ご利用できません。
- ・土曜日ならびに日曜日は、少人数の事務局職員が出務しております。各種手続きやお問い合わせに一部対応できない場合がありますので、ご了承ください。
- ・会議室の利用可能時間は、午前9時30分～午後5時までです。
- ・土・日曜日の利用料金は、平日料金の30%割増しとなります。
- ・土・日曜日の会議室利用の際は、急病診療所の診療時間内であるため、駐車場のご利用を控えていただいております。来館時には公共交通機関をご利用ください。特に日曜日、祝日については駐車券の割引処理もできませんので、ご注意ください。

問い合わせ先：京都府医師会 総務課
TEL：075-354-6102 FAX：075-354-6074
Mail：soumu@kyoto.med.or.jp

広報誌『Be Well』のバックナンバー紹介

ご好評をいただいております府医発行の府民・市民向け広報誌『Be Well』につきましては現在101号まで発行しております。

右記のバックナンバーにつきましては在庫がございますので必要な方は

府医：総務課
(TEL 075-354-6102)

までご連絡ください。

- 38号▶エイズ患者・H I V感染者今のままで
は増え続けます
- 42号▶男性の更年期障害
- 47号▶一酸化炭素中毒
- 54号▶子宮がん
- 55号▶ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチン
- 65号▶感染症罹患時の登園(校)停止基準と
登園届
- 69号▶PM2.5と呼吸器疾患
- 70号▶BRCAについて
- 76号▶RSウイルス感染症、ヒトメタニュー
モウイルス感染症
- 77号▶性感染症 STI
- 78号▶コンタクトレンズによる目の障害
- 79号▶肝炎・肝がん
- 81号▶爪のトラブル(巻き爪・爪白癬)
- 82号▶脳卒中
- 83号▶大人の便秘症
- 84号▶熱中症
- 85号▶毒虫
- 86号▶動脈硬化
- 87号▶夜間の頻尿
- 88号▶認知症
- 89号▶CKD(慢性腎臓病)
- 90号▶急性心筋梗塞
- 91号▶消化器がんの予防と検診
- 92号▶知っておきたいたばこの事実
- 93号▶白内障
- 94号▶ロコモ
- 95号▶子宮頸がん
- 96号▶心房細動
- 97号▶糖尿病
- 98号▶アトピー性皮膚炎
- 99号▶甲状腺について
- 100号▶肺がん
- 101号▶不妊治療

京都医学史研究会

医学史コーナー

醫の歴史

— 医師と医学 その54 —

○明治・大正の医療

その21 英世追慕③

前号に続く

英世（1876～1928）はマドセン博士の厚い信頼と友情に支えられ、コペンハーゲンにあるデンマーク国立血清研究所の1年間（1903年10月～1904年10月）留学時代を快適に終えて、アメリカのフレクスナー博士の勤務先・ペンシルベニア大学（ペン大）に戻ることになる。ところが時を同じくしてフレクスナー博士が新しく設立されるNYのロックフェラー医学研究所の部長（のちに所長）に招携されたため、博士子飼いの英世もペン大に戻ることなくロック医研の助手に収まる。そして、この1904年秋以降アフリカ・アクラで客死する1928年5月まで英世はNYのロック医研で大いに飛躍する。

ロックフェラー医学研究所・助手時代（1904.10月）（28歳～31歳）

新設なったロック医研でフレクスナー博士のもと（既に英世は科学アカデミーで蛇毒の研究発表をしていた）、いよいよ英世は超手強い「梅毒」の発生原因とその予防研究に乗り出す。

それにつけてもデンマークの留学時代が懐かしい、寄宿先の娘との恋愛である。アメリカに戻る際に娘に言い残した「2年待ってくれ、迎えに行くから」の約束はNYの喧騒とロック医研の夜を日に継ぐ神経を尖らす実験の日々に埋もれてしまった。そして英世の机に飾られていたデンマークの娘の写真は消えた。

1905年3月、ドイツのシャウディンとホフマンは梅毒疹採取で“極めて微細な動いている白色螺旋状菌”を発見した、いわゆる梅毒スピロヘータである。

ロック医研・準正員、副正員時代（1909～1914.7月正員）（37歳）

英世は、ロック医研で準正員に昇格する2年前にペン大から理学修士の学位を授与された。のびのびになっていた蛇毒の著述は、この年6月に315頁の大著となって出版された。梅毒研究に的を絞るが、スピロヘータ発見の2年後にワッセルマンが梅毒診断法を発案した。英世はワッセルマンの診断法に血清学を取り込んだ論文を矢継ぎ早に発表する。

- 梅毒の血清的診断に関する考察
- 所謂梅毒抗毒素の運命
- ワッセルマンに対するプロテイン、リポイド及び塩の関連
- 梅毒の血清的診断に関する簡便な方法

など多数である。英世の次なる目論見は梅毒スピロヘータの“純粋培養”である、他の有機体と混合せずに単独で培養するのである。英世は梅毒患者の梅毒を移植する動物を「兎」に託し、兎の睾丸に接種した。

梅毒スピロヘータの純粋培養（1911）（35歳）

英世の研究室には百羽（匹）以上の兎が集められ、完全に殺菌した睾丸の一片づつを血清水が入った試験管に投入、管の中にスピロヘータが発生するか否かの実験である。万が一、発生して純粋培養が可能になれば注射液或いは血清を製出して梅毒の治療も夢ではないと英世は寝る間も惜しんで実験に没頭した——兎の睾丸は13代継代して培養の純度を高め、ついに健康な兎の睾丸に梅毒性睾丸炎を起こさせるに至った——英世は成功を確信した。（但し、この純粋培養実験は以後現在まで誰も成功していない）

— 続く —

（京都医学史研究会 葉山 美知子）

医師年金

<認可特定保険業者> 公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

保険料はいつでも自由に増減できます!

予定利率は1.5% (令和5年5月現在)

- 年金検討チェックリスト
- 公的年金だけでは現役時代の生活水準の維持が難しい
 - コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
 - 一生涯受け取れる年金が望ましい
 - 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
 - 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい

余裕資金を随時払で上限なく増額できます

事務手数料は払込保険料に対して0.25%だけです

1つでも該当したら...

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで、簡単シミュレーション!



医師年金 検索

<https://nenkin.med.or.jp>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額シミュレーションができます。ぜひお試しください。

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

JMA 公益社団法人 日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487 (直通)
 FAX : 03-3942-6503
 受付時間 : 午前9時30分~午後5時 (平日)
 E-mail : nenkin@po.med.or.jp

医師年金

公認特定保険業者 日本医師会 年金福祉課
 TEL:03-3942-6487(直通)

保険料からプラン作成

加入年金	月給	100	60,000円
減額年金	月給	-100	12,000円
払込保険料総額 11,468,000円			
内訳	加入年金 (214回)	12,840,000円	
	減額年金 (214回)	2,568,000円	

設定条件

試算日 令和4年10月21日
 生年月日 昭和50年1月1日
 加入申込時期 令和4年10月15日
 加入 (払込) 月受月 令和4年10月 (61歳2ヶ月)
 加入年金増額払込月受月 令和4年10月 (41歳2ヶ月)
 専業主婦開始年月 令和2年10月 (39歳6ヶ月5日)

注意事項

- ※申込期間は、15日の平日・期日時の場合は、その期日となります。
- ※保険料金は、加入費ご納入まで一括入金が必要となります。
- ※いずれのコースも、保険開始年月から15年間の保険期間があり、受給者ご本人が保証期間中に亡くなる場合は、15年の満了の期日において、ご遺族の方に年金が支払われます。
- ※「受取コースの選択 (31~64)」は、受取開始時に決まりました。
- ※コースによっては、保証期間での受取年金総額が払込保険料額よりも下ることがあります。
- ※受取開始額は、15歳まで延長できます。
- ※受取開始年齢は、15歳までです。現在は年利1.5%で計算になっており、将来、利率の制度変更が行われる場合、変更になる場合があります。

13コース 15年保証期間型

加入年金	15年保証期間15年	59,500円	終身
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		71,400円	71,400円
15年受取年金総額		12,852,000円	

12コース 5年確定年金型

加入年金	5年	254,600円	
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		266,500円	11,900円
15年受取年金総額		17,418,000円	

11コース 10年確定年金型

加入年金	10年	132,000円	
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		143,900円	11,900円
15年受取年金総額		17,882,000円	

14コース 15年確定年金型

加入年金	15年確定型	91,200円	
減額年金	15年保証期間15年	11,900円	終身
受取年金月額		103,100円	11,900円
15年受取年金総額		18,558,000円	

00000301

20230501S21



西京医師会

広報担当理事 秋元 晶子

西京医師会は松崎恒一会長のもと2023年9月16日現在、総会員数 354名、内訳はA会員：111名、B会員：142名、C会員：66名、D会員：26名、研修医会員：9名により構成され、地域は5つの包括エリア（西京・北部、桂川、西京・南部、沓掛、境谷）に分かれています。

今回は地域医療活動のひとつ、「西京よろし会」についてご紹介させていただきます。

西京区では平成15年に訪問看護ステーション連絡会からの要望を契機に医師会とケアマネージャー、訪問看護、地域包括、歯科医師会、薬剤師会と個々に懇談会を持つようになります。そのつながりから平成21年には西京地域医療介護関係者懇談会、その後の平成27年には「四士四師会」（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士）、そしてさらに社会福祉士・介護福祉士が加わり「西京よろし会」として多職種連携の場が広がっていきました。その後「西京よろし会」には行政関係者も参加するようになり広く認知されるようになります。令和2年には西京区役所・洛西支所・医師会・歯科医師会で「西京区災害医療救護活動に関する協定」が結ばれ、大規模災害発生時に避難所等で活動する医療チーム「西京よろし会災害医療班」ができます。これまでの医療連携を活かし避難所での情報収集、

健康保持のため必要なそれぞれの役割を担う目的の団体です。西京医師会ホームページには施設・避難所等での災害ポータルページが新しく追加され、歯科口腔保健ラピッドアセスメント票利用も可能になっています。そして新型コロナウイルス感染症のパンデミックが世界を覆う令和3年7月「西京よろし会医療介護連携班」ができ職種を超えたより良い医療連携の場となっています。医師会ならびに関係されたすべての皆様のご尽力ご苦勞は大変なものであったと感謝しております。

今後とも西京医師会をどうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人 西京医師会

〒615-8177
京都市西京区榎原下ノ町8 榎原公会堂2階
TEL：075-393-5733 FAX：075-393-5644
HP：https://www.nishikyo-med.or.jp/
e-mail：nma5733@nishikyo-med.or.jp
会長：松崎 恒一
会員数：354人（2023.9現在）

第55回京都医家芸術展の開催報告

京都医家芸術クラブ

2023年9月22日(金)から24日(日)までの3日間、京都医家芸術クラブ主催の芸術展が、京都府立文化芸術会館において開催されました。府医内で脈々と受け継がれてきました歴史的な芸術展を成功裏に収めることができましたこと、出展者と来場者のみならず、支えていただきました関係各位に衷心より厚く御礼申し上げます。また、後援いただきました京都府医師会に感謝いたします。

本年は、油彩画12点、水彩画11点、日本画2点、アクリル画1点、色鉛筆画3点、木版画2点、スタンドグラスランプ1点、チャイナペイント4点、陶芸3点、写真9点、書2点、フェルト手芸2点と多くの作品が出展されました。このところ当芸術展の会場としてすっかり定着しました府立文化芸術会館の2階の会場、入口の第1フロアの壁面には写真、版画、水彩画、書が、そして階段を上った第2フロアの壁面には、絵とフェルト手芸が東、北、西の3面に艶やかに展示され、中央のテーブルには陶芸作品とスタンドグラスランプが置かれました。府医会員、家族、従業員などが制作した作品には、それぞれの個性が光るものや、制作についやされたと思われる時間と、情熱にただただ驚かされるようなものが多く、その出来栄に、来場者から感嘆の声が上がるものもありました。ご来場いただきました皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。来年度もよろしく願いいたします。京都医家芸術クラブ医芸展部門の世話人は下記のとおりです。次回の医家芸術展に是非、ご参加いただきますようお願いいたします。



京都医家芸術クラブ：医家芸術展部門

世話人：浅野 明美、蘆田ひろみ、足立 晴彦
田代 博、谷村 伸一、藤田 裕美
安井 仁、山下 元

【出展者および作品一覧】

◇油彩画

八田 一郎 (左京)

潜伏キリシタンの漁村 (天草・崎津)
神戸北野の旧写真館
涼を求めて
大王崎灯台

藤田 裕美 (中東)

Pyramid of the magician
原子力砕氷船

谷村 伸一 (西京)

上高地
湯布院
日本平

安井 仁 (山科)

ペルシアーナ窓に座る裸婦
昆虫食 CICADA
鴨沂会館前を自転車で通う高校生ジュリー

◇水彩画

浅野 明美 (下東)

アンスリウム

ジャンボセキセイインコ：海ちゃん

舞子ちゃん (デッサン)

山下 元 (乙訓)

鴨川納涼床絵図

雪の合間 (関ヶ原にて)

鈴木 博 (乙訓)

アルルのアリーナにて (フランス：アルル)

スペイン広場 (スペイン：セビリア)

ポルトフィーノの港 (イタリア：リグーリア)

エルベ広場 (イタリア：ヴェローナ)

堀田研太郎 (上東・家族)

夏の日

堀田明日香 (上東・家族)

私のピーマン

◇日本画

家森 百合子 (中西)

語らい

中村 久美 (右京・家族)

遠望 大文字火床

◇アクリル画

足立 晴彦 (西京)

オスマン船 (板絵 額縁)

◇色鉛筆画

蝶勢 弘行 (中西)

没我 (羽生善治)

没我 (里見香奈)

没我 (渡辺明)

◇木版画

田代 博 (右京)

花のシリーズ XVII

孫5人

◇ステンドグラスランプ

佐々木真弓 (西陣・家族)

24 “ROSEBUSH

◇チャイナペイント

久下富久子 (中西・家族)

心のおもむくままに(リモージュの小物たち)

色絵プラチナ彩秋草文煎茶セット

西村 壽子 (綴喜・家族)

青いカネーションとマッチ箱(ラスター彩額絵)

鹿と菊 (ルビーラスター額絵)

◇陶芸

出射喜代子 (下西・家族)

赤いりんご

青いりんご

足立 晴彦 (西京)

ティータイムセット (黒釉陶器)

◇写真

小柴 壽彌 (亀岡市)

夢の途中

小柴 通 (亀岡市・家族)

時を刻む

岩井 直躬 (乙訓)

古都の煌めき (西安)

立入 克敏 (西京)

美味しそう！



立入 淳子 (西京・家族)

らんまん

上田 尚司 (下西)

昔の平等院の藤の花

ビワコの花火

天皇陛下が京都御所まで見に来られた御所の桜

岩田 譲司

夜空の絢爛 (琵琶湖)

◇書

堀田 晶子 (上東・家族)

重陽

堀田明日香 (上東・家族)

行雲流水

◇フェルト手芸

竹上 眞文 (上東・家族)

「らんまん」万太郎

「らんまん」寿恵子



京都府医師会ホームページをご利用ください!



府医ホームページでは、府医の活動を会員に迅速に伝達するコンテンツを用意しています。ぜひご活用ください。

府医ホームページ URL <https://www.kyoto.med.or.jp/>

- 京都医報
<https://www.kyoto.med.or.jp/member/report/index.shtml>
- 府医トレセン
<https://www.kyoto.med.or.jp/tracen/>
- 府医在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
<http://kyoto-zaitaku-med.or.jp>

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症情報は、府医ホームページ「新型コロナウイルス関連特設サイト」をご覧ください。



サイバーセキュリティのことなら「サイ窓」へご相談ください！

日本医師会サイバーセキュリティ対応相談窓口

TEL 0120-179-066 年中無休・対応時間：6時～21時

サイバーセキュリティに関連する日常の些細なものからランサムウェアへの感染トラブルまで幅広く相談できる相談窓口です。

日医A①会員のいる医療機関であれば、勤務医の方や事務員からの相談も可能です。

*サイバー攻撃を受けた場合など、情報セキュリティ・インシデント発生時の緊急連絡先

京都府警察本部 TEL 075-451-9111 (代表)

サイバーセンター サイバー企画課 (平日午前9時～午後5時45分)

※休日・夜間は京都府警察本部 生活安全当直が対応

救急蘇生訓練人形等の貸出について

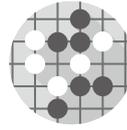
府医では、地区医・京都市消防局・京都府各消防本部の協力により、救急蘇生訓練の啓発を推進しております。

下記の救急蘇生訓練人形等について、医療機関内または地域での救急講習会等で会員の皆様にご利用いただきたく存じますので、貸し出しご希望の方は、事前に府医地域医療一課救急係 (TEL 075-354-6109) までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

・救急蘇生訓練人形 (成人用) [人工呼吸・心マッサージ可]	3体
・救急蘇生訓練人形 (小児用) [人工呼吸・心マッサージ可]	2体
・救急蘇生訓練人形 (乳児用) [人工呼吸・心マッサージ可]	2体
・救急蘇生訓練人形 (成人用上半身) [人工呼吸・心マッサージ可]	5体
・気道管理トレーナー	1台
・AED (自動体外式除細動器) トレーニングユニット [訓練用]	2台

集いの部屋

倶楽部・サークル



Tennis

医師テニス

第50回 全日本医師テニス 愛媛大会

記念すべき第50回全日本医師テニス大会が10月7日(土)～10月9日(月)の3日間、松山市で開催された。

コロナ禍の3年間、第47回、48回は中止、さらに昨年の第49回山口宇部大会は内容を縮小してなんとか開催された。今回はコロナ禍が明けたと実感できる記念すべき50回大会となるべく主催県の尽力でフルスケールの内容での開催となった。参加者は全国から332名、京都から21名が松山市に集合するという、かなり盛大な大会であった。テニス会場は松山市中央公園コート16面と空港東公園コート8面の2大会場が準備された。中央公園のテニスコートは坊ちゃんスタジアム野球場に接しており、整備された立派な設備の会場であった。

第1日目は医師、夫婦のミックスダブルス戦、第2日目は男女すべてのダブルス戦、そして最終

日がすべてのシングル戦というスケジュールでの大会となった。第2日目は弱い雨に見舞われたがほぼ試合にはさしつかえなく無事に進行された。

第2日目8日(日)夕方にANAクラウンプラザホテル松山でスポーツ予防医学研究会と会員の懇親会が開催された。「スポーツによる上肢障害の治療」と題して岡山大学整形外科教授 島村安則先生の講演があった。医師テニス大会ということでテニス肘について、さらに大谷翔平選手の再度の肘故障でのトミージョン法、インターナルブレース法による手術の解説をいただいた。

続いての会員懇親会ではお酒あり、余興ありのフルサイズでのパーティーとなった。ウィンブルドンファイナリスト清水善造氏の孫にあたる清水善三氏が登壇され、戦前戦後の日本のテニス史について種々の話題を提供された。清水善造選手のウィンブルドン準優勝メダル等いろいろゆかりの品々が展示され、まじかで拝見することができた。

総会では2024年第51回大会が宮城県で、2025年第52回大会が兵庫県で開催されることとの報告があった。また、世界大会は2024年ハンガリーブタペストで2025年はポーランドでの開催とのことである。詳細は日本医師テニス協会のホームページを見てほしいとのこと。テニス愛好の医師、配偶者の多くのご参加をお待ちしています。

平杉 嘉昭(西京) 記



<京都勢戦績>

医師ミックス	3組	準優勝	橋本 吾 橋本 朋子
	5組	優勝	川島 市郎 (右京) 川島 淳子 (右京)
夫婦ミックス	1組	3位	平杉 嘉昭 (西京) 平杉とよ子
	3組	3位	赤永 尚史 赤永 陽子
	6組	3位	余みんてつ (京都北) 余 由美子
男子ダブルス	80歳以上	準優勝	中井 吉英 (西京) 奥 正之 (大阪)



子育てサポートセンター

京都府医師会では、京都府内で働いている医師を対象に、お子さまの一時預かりサービスを行っております。医師会館内の保育ルームにて専属保育士がお子さまをお預かりいたします。

子育てサポートセンターのホームページから、WEBにて利用予約が可能です。

また、新規登録された方やお知り合いをご紹介して下さった方へ体験保育（4時間まで保育無料）も実施しておりますので、是非子育てサポートセンターをご利用ください。



詳細はホームページをご覧ください。

◀ <https://kosapo.jp/>





令和5年度京都府糖尿病対策推進講習会開催のご案内

府医では、平成17年12月に「糖尿病学会」および「糖尿病協会」とともに「京都府糖尿病対策推進事業委員会」を立ち上げ、糖尿病対策推進のさらなる強化に取り組んでおります。その一環としてこれまで、医師や多職種を対象とした講習会を府内各地で開催し、いずれも多数のご参加をいただきました。

本年度は、「高齢者糖尿病診療ガイドライン Update」をテーマに、糖尿病治療に関する新たな考えや治療薬等について、各職種からご講演いただきます。多数ご参加ください。

◆ テーマ 「高齢者糖尿病診療ガイドライン Update」

と き 令和5年12月9日(土) 午後2時30分～午後4時30分

と ころ ハイブリッド形式（府医から配信）

◆ 内 容

座長：京都大学糖尿病・内分泌・栄養内科 村上 隆亮 氏

1. 「高齢者糖尿病診療ガイドライン 2023 の内容を踏まえた高齢者糖尿病診療について」
(医師) 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 糖尿病内科 小倉 雅仁 氏
2. 「糖尿病高齢者の ACP」
(看護師) 京都府立医科大学 看護部 肥後 直子 氏
3. 「高齢者糖尿病における薬の支援と注意点」
(薬剤師) JCHO 京都鞍馬口医療センター 薬剤部 松村明日香 氏
4. (仮) 「高齢者糖尿病に対する栄養療法」
(管理栄養士) 京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部 副部長 幣 憲一郎 氏
5. (仮) 「高齢者糖尿病患者に有用な運動」
(運動) 関西医科大学 黒瀬 聖司 氏
6. (仮) 「高齢者糖尿病診療において知って役立つ制度や介護等との連携のコツ」
(介護・社会支援) 京都府介護支援専門員会 山川 淳 氏
7. 質疑応答

◆対 象 医師（開業医・勤務医・研修医・高齢者施設等に従事する医師）、関係多職種

◆日医生涯教育 CC

9. 医療情報 (0.5), 10. チーム医療 (1.0), 76. 糖尿病 (0.5)

◆参加費 無料

◆申 込 URL または QR コードより申し込みフォームにアクセスしていただき、必要事項をご記入ください。

申し込み URL <https://ssl.formman.com/form/pc/kuEza10G8XsHY9Ey/>

申し込み締切 12月4日(月)

※必ず申し込み締切日までにお申し込みください。

※お申し込みいただいた方に12月7日(木)の夕刻に招待メールをお送りします。万が一未達の場合は、12月8日(金)の16時までにご連絡ください。地域医療1課 (075-354-6109)



主 催	京都府医師会
共 催	京都府糖尿病協会, 京都府薬剤師会, 京都府臨床検査技師会, 京都府糖尿病療養指導士認定委員会
後 援	京都府看護協会, 京都府栄養士会, 京都府歯科医師会, 京都府介護支援専門員会, 京都糖尿病医会, 京都腎臓医会

日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度 DVD 研修会 開催のご案内

府医主催「日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度 DVD 研修会」を12月17日(日)に下記のとおり開催いたします。

受講を希望される方は、下記の事項をご確認の上、お申し込みください。

記

日 時 令和5年12月17日(日) 午前10時～午後5時10分

場 所 京都府医師会館 212・213・310 会議室

対 象 ・「日医かかりつけ医機能研修制度」の申請を希望する医師
・かかりつけ医となる全ての医師（診療科や主たる診療の場は問わない）
※地区医非会員の方は受講料（10,000円）が必要です。（事前申込）

プログラム 本号付録の別紙参照

取得可能単位

日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修単位1～6：各1単位

日医生涯教育講座 6CC：各1単位

専門医共通講習－感染対策：1単位

※受講証は後日送付いたします

申込方法 Google フォーム〈<https://forms.gle/8fCBmxYWkXMQsdnk8>〉または
本号付録の申込用紙にご記入の上 FAX 〈075-354-6074〉にてお申し込み
ください。



申込締切 令和5年11月24日(金) 厳守

※募集期間終了後、受講決定通知を郵送いたします。

備 考 ・本研修会は日医主催「日医かかりつけ医機能研修制度 令和5年度応用研修会」（8月27日、10月1日、11月3日開催分）と同じ内容です。
・事前申し込みなしでの参加はお受けできません。
・昼食は各自でご用意ください。会館内で昼食を取られる場合は、必ず自席でお召し上がりください。
・当日は、急病診療所が開設されているため、受講者は必ず公共交通機関を利用の上、来館ください。万が一、府医会館に駐車された場合、割引処理は行いませんので、ご了承ください。
・欠席される場合は、必ず事前にご連絡をお願いいたします。

注 意 ・応用研修単位が付与されており、厳格な入退室管理が求められていることから、各演題に遅刻・早退があった場合、当該演題の単位の付与ができません。

問 合 先 担 当：学術生涯研修課

所在地：〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会館 3階

TEL：075-354-6104 FAX：075-354-6074

Mail：gakujiyutu@kyoto.med.or.jp

「京都医報」へのご投稿について

府医では、会員の皆さまから「会員の声」「北山杉」「他山の石」「私の趣味」「診療奮闘記」の各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿ください。

なお、字数は原則として下記のとおりですが、最大でも3000字（医報2ページ分、写真・図表・カット（絵）等を含む）までをお願いいたします。原稿の採否は、府医広報委員会の協議により決定します。場合によっては、本文の訂正・加筆、削除、分載等をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、同じ著者の投稿は原則として1年間に1編とします。

【原稿送付先・お問い合わせ先】

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会総務課「京都医報」係

TEL 075-354-6102 FAX 075-354-6074 e-mail kma26@kyoto.med.or.jp

会員の声 「会員の声」には、医療についての意見、医師会への要望・批判などを1200字程度にまとめてお寄せください。

北山杉 「北山杉」には、紀行文・エッセイなどを1200字程度でお寄せください。

他山の石 これまでに体験した「ヒヤリ・ハット」事例を1200字程度でお寄せください。特別な形式はありませんが、①事例内容 ②発生要因 ③その後の対策等—についてご紹介ください。掲載にあたっては、原則「匿名」とさせていただき、関係者などが特定できない形での掲載となります。

私の趣味 「自転車」「DIY（日曜大工）」「料理」「園芸」「旅行」「映画」「書籍（医学書以外）」「音楽」「演劇鑑賞」「ワイン（酒）」「登山日記」「鉄道」などについてジャンルは問いません。読者に知ってもらいたい、会員の先生方の深い造詣を1200字程度でご披露いただければ幸いです。

診療奮闘記 日常診療で尽力されている事柄や感じていること、出来事などについてのご投稿をいただくことで、会員の先生方の参考となればと思っております。こちらも1200字程度でお寄せください。

令和5年度 死体検案研修会（上級）の開催について （お知らせ）

日医では、平成26年度より従来、厚労省が国立保健医療科学院で行ってきた研修会を、厚生労働省死体検案講習会事業の委託を受け、日本法医学会等の協力の下、死体検案研修（上級）として開催しています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症が流行している状況を踏まえ、令和4年度に引続き、座学講義部分については、e-learning形式（オンデマンド方式）で開催し、大学医学部法医学教室等における見学実習については、今後の流行状況を注視しつつ、感染防止に努めながら、各自で受講することとする旨の連絡がありましたのでご案内します。

令和5年度 死体検案研修会（上級） 実施要領

目 的	「死体検案」業務の充実を図るため、日本法医学会の協力の下、日頃、検案実務に従事する機会の多い医師を対象に、検案業務に関する研修を開催する。	
対 象 者	検案業務に従事する機会の多い医師 （※具体的には、日頃、警察の検視に立ち会うなど、日常的に検案業務に携わる、若しくは今後その予定のある医師を対象とする）	
開催形式・期間	講 義	e-learning形式（オンデマンド型）（期間内に予め撮影した講義動画を受講者専用サイトにて視聴、確認テストを実施） ＜視聴可能な期間＞ 令和5年12月6日(水) 午前11時 ～令和6年2月29日(木) 午後3時（予定） ※一部科目については、対面形式も実施（希望者のみ、定員あり） 令和6年1月中に半日程度で開催予定（詳細は、後日、受講決定者に連絡する）
	見学実習	講義動画を視聴後、監察医務機関等における監察医業務や大学医学部の法医学教室における法医学解剖等の見学実習を実施 ＜期間・日数＞ 講義動画視聴後より令和6年9月30日までの間の1日間 ※実習可能な施設については、後日、受講者に対し日医より連絡する
受 講 料	無料	
申し込み方法	日医ホームページ【医療安全・死因究明】コーナー（ https://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/ ）より、「令和5年度「死体検案研修会（上級）」のご案内」（令和5年11月上旬開設予定）へ進み、メールアドレスを登録する。登録後に送られてくるメールに記載されたURLより申込フォームを開き、必要な情報を入力する。定員に達し次第締め切る（先着順）。	
定 員	300名	
修 了 証	見学実習を含むすべてのカリキュラム（対面形式の講義を除く）を受講し、修了要件を満たしたと判定された受講者に後日、「修了証書」を発行する。（令和6年11月頃までに順次発送の予定）	
日医生涯教育制度	※令和5年度の日医生涯教育単位については、要件を満たさないため（e-learning形式（オンデマンド型）不可）対象外となる。	
申し込み受付期間	令和5年11月22日(水) 午前11時（予定） ～令和5年11月30日(木) 午後3時（予定） ※定員に達し次第締め切る（先着順）。予定が変更となった際には、あらためて通知する	

主催 日本医師会（令和5年度 厚生労働省 医療施設運営費等補助金 死体検案講習会事業）

連絡先 日本医師会 医事法・医療安全課

TEL 03-3942-6484 FAX 03-3946-6295 E-mail law-safe@po.med.or.jp

令和5年度 死体検案研修会（上級）プログラム

＜座学講義（e-learning形式（オンデマンド型）。一部科目*については対面形式も実施予定（希望者のみ））＞

- ・期間内に各講義動画を受講者専用サイトにて視聴，確認テストを実施。
 - ・受講者からの質問は，受講者専用サイトで受け付け，それに対する回答・解説を後日，追加で掲載。
- ※講義動画視聴期間：令和5年12月6日(水) 午前11時～令和6年2月29日(木) 午後3時（予定）

	講義	講師
1	わが国の死因究明制度（30分）	神田 芳郎（久留米大学）
2	死体現象と死後経過時間推定（30分）	池松 和哉（長崎大学）
3	窒息死（総論） 窒息死（各論）（60分）	池松 和哉（長崎大学）
4	死亡診断書・死体検案書の作成上の留意点 死体検案の実際と検案の留意点（60分）	井濱 容子（横浜市立大学）
5	損傷（総論） 損傷（各論）（60分）	近藤 稔和（和歌山県立医科大学）
6	死因論（30分）	近藤 稔和（和歌山県立医科大学）
7	異常環境死（30分）	清水 恵子（旭川医科大学）
8	内因性急死（30分）	佐藤 貴子（大阪医科薬科大学）
9	在宅死，入浴死（30分）	木下 博之（香川大学）
10	家庭内虐待（30分）	高宮 正隆（岩手医科大学）
11	乳幼児死亡（30分）	久保 真一（福岡大学）
12	中毒死（30分）	木下 博之（香川大学）
13	死亡時画像診断（30分）	岩瀬博太郎（千葉大学，東京大学）

※以上のうち，2科目程度は対面形式による講義（質疑応答含む）と総合質疑応答を実施予定（希望者のみ。令和6年1月頃に半日程度で開催（東京会場，地方会場の計2回））。

＜見学実習＞

- ・座学講義を視聴後，監察医務機関等における監察医業務または医学部法医学教室等における法医解剖等の見学実習を実施。

※期間・日数：講義動画視聴後より，令和6年9月30日(月)までの間の1日(ただし，期間については今後の感染状況等を踏まえ，柔軟に対応する)

会員消息

(9/7, 9/14 定例理事会承認分)

入 会

氏 名	会員区分	地 区	医 療 機 関	診療科目
澤井 優樹	C	上 東	北区小山下総町 27 京都鞍馬口医療センター	研修

異 動

氏 名	会員区分	地 区	医 療 機 関	診療科目
山名 則和	A→A	伏見→伏見	伏見区深草直違橋北1丁目 460-1 やまな脳神経クリニック ※法人化にともなう異動	脳外・リハ
吉川 晴菜	B1→B1	山科→宇久	宇治市菟道荒槇 1-72 吉川眼科医院	眼
北出 美幸	C→B2	府医大→府医大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	糖内
塩屋 友梨	C→B2	府医大→府医大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	腎内

退 会

氏 名	会員区分	地 区	氏 名	会員区分	地 区	氏 名	会員区分	地 区
中村 真人	A	船 井	小芝 明美	B 1	中 西	中村 正一	B 1	伏 見
伊藤 太郎	B 1	舞 鶴	小間 淳平	B 1	中 西	杉本 亘邦	B 1	右 京
辻川 敬裕	B 2	府医大	高寺 亜美	B 2	府医大			

訃 報

菅 典道氏／地区：左京・葵2班／8月31日ご逝去／74歳
辻際 雅哉氏／地区：伏見・醍醐班／9月3日ご逝去／63歳
謹んでお悔やみ申し上げます。

第20回 定例理事会 (9月7日)

報 告

1. 9月1日現在の会員数
8月1日現在 4,398名 (日医 3,233名)
9月1日現在 4,402名 (日医 3,233名)
2. 会員の逝去
3. 会員の受賞
4. 令和5年度京都府・京都市生活保護連絡協議会の状況
5. 産業医研修会の状況
6. <京都市>第1回～地域で気づき・つなぎ・支える～認知症総合支援事業アドバイザーボードの状況
7. 令和5年度「第2回総合診断力向上講座」の状況
8. 京都府医療審議会第3回計画部会の状況
9. <京都府>糖尿病重症化予防戦略会議の状況
10. 令和5年度かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会(南部会場)の状況
11. 9月度地域医療担当部会の状況
12. 第39回京都府医療対策協議会の状況
13. 第3回近医連常任委員会の状況

議 事

14. 京都府・京都市等外部審議会委員等の推薦ならびに推薦替えを可決
15. 会員の入会・異動・退会8件を可決
16. 第62回十四大都市医師会連絡協議会への出席を可決
17. 地区懇談会の開催を可決
18. 広報委員会の委員委嘱と第1回委員会の開催を可決
19. 医師のワークライフバランス委員会の委員委嘱と第1回委員会の開催を可決
20. <京都市老人福祉施設協議会>令和5年度「かいごみらいフェス2023」の後援を可決
21. 院内救急救命士の現況調査の実施を可決
22. 令和5年度近医連学校医研究協議会第1回理事会への出席を可決
23. 学校検尿事業委員会の委員委嘱と第1回委員会の開催を可決
24. 乳幼児保健委員会委員の委嘱と第1回委員会の開催を可決
25. 令和5年度こどもの健康週間行事「子育て支援シンポジウム」の共催ならびに負担金交付を可決
26. 学校心臓検診症例検討会の開催を可決
27. 地域ケア委員会委員の委嘱と第1回委員会の開催を可決
28. <(公社)日本脳卒中協会>脳卒中市民講座の後援を可決
29. 乳がん検診委員会委員の追加委嘱を可決
30. <京都皮膚科医会>「皮膚の日」の共催を可決
31. <京都地域包括ケア推進機構>医師向け「アドバンス・ケア・プランニングおよび意思決定支援に係る研修」の共催を可決
32. 前立腺がん検診委員会委員の委嘱と第1回委員会の開催を可決
33. 勤務医部会幹事の委嘱と第1回幹事会の開催を可決
34. 学術講演会の共催および日医生涯教育講座の認定を可決
35. 令和5年度生涯教育事業(地区医実施分)の共催を可決
36. 「第8回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会」の後援を可決
37. 第4回近医連常任委員会への出席を可決
38. 都道府県医会長会議への出席を可決

第21回 定例理事会 (9月14日)

報 告

1. 会員の逝去
2. 各専門医会長との懇談会の状況
3. 9月度総務担当部会の状況
4. 9月度保険医療担当部会の状況
5. 令和5年度第1回・2回「京都在宅医療塾実践編」の状況
6. 第30回全国医師会共同利用施設総会の状況
7. 令和5年度第2回地区感染症対策・予防接種担当理事連絡協議会の状況
8. 令和5年度京都市子どもの予防接種研修会の状況
9. 令和5年度京都市BCG予防接種研修会の状況
10. <京都府>京都小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会の状況
11. 第22回京都市子ども保健医療相談・事故防止センター運営委員会・第20回京都市子どもの事故サーベイランス委員会合同委員会の状況
12. <京都府>第1回循環器医療ワーキングチームの状況
13. <京都府>第1回京都府看護師等確保対策推進協議会の状況
14. 第1回がん登録事業委員会の状況
15. 第1回特定健康診査委員会の状況
16. 令和5年度第1回認知症サポート医フォローアップ研修の状況
17. 9月度学術・会員業務担当部会の状況
18. 令和5年度近医連定時委員総会の状況

議 事

19. 京都府・京都市等外部審議会委員等の推薦ならびに推薦替えを可決
20. 会員の異動・退会7件を可決
21. 常任委員会の開催を可決
22. 令和6年度京都府・京都市への予算要望を可決
23. 府医会館駐車場黄色回転灯センサーの交換を可決
24. 南部四地区医連絡協議会への出席を可決
25. 新入会員との交流会の開催を可決
26. 四師会懇談会の日程変更を可決
27. 冬の参与会の開催を可決
28. 令和7年度十四大都市医師会連絡協議会の開催を可決
29. 第56回東洋鍼灸医学大講演会の後援を可決
30. 京都国際映画祭2023の後援を可決
31. 事務職員の退職を可決
32. 府医無期転換職員(パート)就業規則の改正を可決
33. 令和5年度看護学校関係助成金の交付を可決
34. 令和5年度「女性医師支援・ドクターバンク連携近畿ブロック会議」への出席を可決
35. 令和5年度労災診療費算定実務研修会の共催等を可決
36. 急病診療所における医師賠償責任保険の契約更新を可決
37. KMA.comの動画コンテンツ制作にかかる謝礼を可決
38. 学術講演会への共催および日医生涯教育講座の認定を可決

京都府医師会 会費減免についてのお知らせ

京都府医師会では、傷病、不慮の災害、産前・産後休暇・育児休業、その他特別の事由による、会費減免制度がございます。

詳細については府医・経理課（075-354-6103）までお問い合わせください。

京都医報を スマートフォン、タブレットで 快適に閲覧

「京都医報」は、印刷物やホームページのほか、スマートフォン、タブレットでも快適に閲覧していただけます。

最新号はもちろんのこと、バックナンバーもすぐに検索可能で、それぞれの端末に合わせてレイアウトが切り替わるレスポンス機能を採用していますので、ストレスなくご覧いただけます。

設定方法、操作方法については以下をご参照いただき、ぜひホーム画面にアイコン設定して毎号ご覧ください。



トップ画面



記事画面

尚、閲覧にはベーシック認証のIDとパスワードが必要です。設定方法、操作方法については下記のQRコードからご確認ください。ログイン用のIDとパスワードは1年間で変更いたします。毎年、京都医報7月15日号にて変更IDとパスワードをお知らせいたしますので、ご確認ください。



閲覧は
こちら



操作方法は
こちら

「京都府医師会・会員メーリングリスト」にご登録ください

府医では、会員の先生方の迅速な意見交換、情報交換の場として「府医・会員メーリングリスト」を運用しております。

Gmail と PC アドレスなどを複数ご登録いただくことも可能です。すでにご登録いただいている会員の先生方も、スマホやタブレットなどでご確認いただくために、登録アドレスを見直しませんか。下記登録方法にてお申し込みください。

『京都府医師会・会員メーリングリスト利用規約』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-kiyaku.pdf>

『京都府医師会・会員メーリングリスト運用ガイドライン』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-unyougaido.pdf>

登録方法 以下の申込先フォーム URL よりご登録をお願いいたします。
アドレスは2つまでご登録いただけます。

(パソコン) <https://ssl.formman.com/form/pc/JpJfpmjNSAt4OKE3/>

(携 帯) <https://ssl.formman.com/form/i/JpJfpmjNSAt4OKE3/>



上記の方法によりご登録できない場合は、FAX でのお申し込みを受け付けます。

必要事項 (①地区医師会名 ②医療機関名 ③氏名 ④メールアドレス) をご記入の上、総務課 (FAX : 075 - 354 - 6074) まで送信してください。

※お申し込みいただいた会員の先生方には、府医事務局においてアドレスを登録します。

～ 12月度請求書 (11月診療分) 提出期限 ～

▷基金 10日(日) 午後5時30分まで

▷国保 10日(日) 午後5時まで

▷労災 11日(月) 午後5時まで

☆オンライン請求は10日(日)

☆提出期限にかかわらず、お早めにご提出ください。

☆保険日より9月15日号に半年分の基金・国保の提出期限を掲載していますので併せてご参照ください。

保険たより

— 必 読 —

麻薬新免許証の交付について

10月に申請書をご提出いただきました本年の更新対象者（有効期間：令和5年12月31日）の新しい麻薬免許証交付については、下記のとおり実施します。京都市内とそれ以外の府域では、取り扱いが異なりますのでご注意ください。

新免許交付の際は、すでに送付しています麻薬免許証返納届（下記留意事項参照）、旧免許証、印鑑（認印）が必要となりますので、必ずご持参ください。

また、更新の手続きが未だお済みでない方は至急、京都府庁薬務課または所轄保健所まで麻薬免許申請書をご提出くださいますようお願い申し上げます。免許が失効した際に麻薬の在庫がある場合は不法所持扱いとなりますので十分ご注意ください。

[返納届の記載に係る留意事項]

- ① 「免許証番号」「免許年月日」欄：令和5年12月31日まで有効の旧免許証の免許番号、有効期間の開始日を記入
- ② 「免許証返納の年月日」欄：「令和5年」と記入
- ③ 「本人住所・続柄・氏名」欄：続柄には「本人」と記入

記

《京都市内の事業所の方》

◇交付場所 京都府医師会館 6階 603会議室

◇交付日時

日 時 (午前10時～12時・ 午後1時～4時)	対 象 地 区
12月7日(木)	左京・右京・西京・山科・伏見
12月8日(金)	北・上東・西陣・中東・中西・下東・下西・東山

※上記2日間いずれかにお越しいただければ交付は可能ですが、混雑を避けるため、あらかじめ対象地区を指定しております。指定された日時での受取にご協力ください。

※2日間とも府庁職員が来館して交付を行いますので、上記時間帯以外の受付はできなくなります。必ず時間内にお越しください。また、会場の密を避けるため、なるべく病院は午前中に、診療所は午後にお越しいただくようご協力をお願いします。

《京都市を除く京都府域の事業所の方》

◇交付場所・交付日時…地域により異なりますので、各保健所にてご確認ください。

京都府健康福祉部薬務課	〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町	075-414-4790
乙訓保健所	〒617-0006 向日市上植野町馬立8	075-933-1241
山城北保健所	〒611-0021 宇治市宇治若森7-6	0774-21-2198
山城南保健所	〒619-0214 木津川市木津上戸18-1	0774-72-4302
南丹保健所	〒622-0041 南丹市園部町小山東町藤ノ木21	0771-62-4754
中丹西保健所	〒620-0055 福知山市篠尾新町1丁目91番地	0773-22-6382
中丹東保健所	〒624-0906 舞鶴市字倉谷1350-23	0773-75-1156
丹後保健所	〒627-8570 京丹後市峰山町丹波855	0772-62-1361

12月度請求書(11月診療分) 提出期限	
▷基金	10日(日) 午後5時30分まで
▷国保	10日(日) 午後5時まで
▷労災	11日(月) 午後5時まで
※オンライン請求は10日(日)	
☆提出期限にかかわらず、 お早めにご提出ください。	
☆保険たより9月15日号に半年 分の基金・国保の提出期限を 掲載していますので併せてご参 照ください。	

10月以降の新型コロナウイルス感染症に係る 診療報酬上の臨時的な取り扱いに係る疑義解釈について

令和5年10月以降の新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱いに係る疑義解釈が厚生労働省より示されましたので、お知らせします。

令和5年10月19日付厚労省事務連絡

問1 令和5年9月15日事務連絡別添の2(2)①のエ(府医注釈:10月15日号保険だより18頁参照)において、「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れたことにより入院患者が一時的に急増等したこと又は保険医療機関に勤務する職員が新型コロナウイルス感染症に感染し出勤ができないことにより職員が一時的に不足したことを別紙様式1(府医注釈:10月15日号保険だより20頁参照)に記載し、各地方厚生(支)局に報告すること」とされているが、当該報告はいつまでに行えばよいか。

(答) 前月の実績で1割以上の変動又は暦月で1か月を超える1割以内の変動があったことを把握した後、速やかに報告を行うこと。

問2 令和5年9月15日事務連絡別添の3(府医注釈:10月15日号保険だより19頁参照)において、「令和5年10月における入院基本料及び特定入院料の施設基準に関する状況について、自己点検を行い、令和5年11月17日までに地方厚生(支)局へ別紙様式2により報告すること」とされているが、自己点検の結果、令和5年9月15日事務連絡別添の2(2)において延長された要件のみ満たしていなかった場合、別紙様式1、別紙様式2(府医注釈:10月15日号保険だより21頁参照)の報告についてどのように考えればよいか。

(答) 別紙様式1、別紙様式2をそれぞれ報告する必要がある。なお、その場合、別紙様式2の「該当に○」、「届出区分」、「病棟数」及び「病床数」欄はそれぞれ記載した上で、「検証結果」欄のうち、本来の基準を満たしていないものについては、空欄のまま報告すること。

新型コロナウイルス検査等に係るQ&Aについて

◇厚生労働省疑義解釈資料(令和4年度診療報酬改定その57/10月13日付)

【SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出(定性)】

問1 令和3年5月12日付けで保険適用されたSARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出(定性)を実施する際に用いるものとして、「SARS-CoV-2抗原及びインフルエンザウイルス抗原の検出を目的として薬事承認又は認証を得ているもの」とあるが、令和5年10月13日付けで薬事承認された「チェックMR-COVI9+Flu」(ロート製薬株式会社)はいつから保険適用となるのか。

(答) 令和5年10月13日より保険適用となる。

自賠責研修会の開催について

WEB 動画形式

府医では、損保協会および損保料率算出機構との共催により、平成15年度から隔年で標記研修会を開催してきたところです。

2年前より、日医と損保協会、損保料率算出機構が協議し、WEB動画形式で研修会が開催されており、今年度も同様にWEBを活用した研修会が開催されることとなりましたので、お知らせします。

研修会の内容は下記のとおりです。受講にあたっては、ユーザーIDの発行が必要になりますので、受講を希望される場合は、申し込み方法をご確認の上、12月15日(金)までに府医保険医療課にメールにてお申し込みください。

記

▷WEB動画の研修講師・テーマ

(1) 学術講習

講師：市立秋田総合病院 整形外科

木村 善明 先生

テーマ：「整形外科外傷診療」

(2) 自賠責講習

講師：損害保険料率算出機構自賠責損害調査センター

主管 深澤 泰氏

テーマ：「自賠責保険（共済）のしくみ」 ※前回（2年前）の内容と同様です。

▷申し込み方法

受講者情報を府医にて取りまとめますので、受講をご希望される場合は、12月15日(金)までに下記アドレス宛に、①医療機関名、②受講者氏名、③氏名のふりがなをお送りください（メールの表題に「自賠責研修会の申し込み」とご明記ください）。

お申し込み後、損害保険協会からメールにてログインに必要な情報をお知らせします。

◀受講申し込み先メールアドレス▶

hoken@kyoto.med.or.jp 〈京都府医師会 保険医療課宛〉

※1 医療機関から複数名受講される場合は、受講者ごとにそれぞれ個別のメールアドレスからお申し込みください（メールアドレスに紐づいてユーザーIDが各人に発行されます）。

▷WEB動画形式の受講可能期間

2024年1月31日(水) まで

日医「オンライン診療についての事例ご報告」への ご協力について (お願い)

3月1日号本紙にて既報のとおり、日医ではオンライン診療の好事例・不切事例の情報収集のため、日医メンバーズルーム配下に「オンライン診療についての事例ご報告フォーム」を設置しています(下記URL参照)。

本フォームに寄せられた不適切事例については、厚生労働省を通して都道府県より指導が行われたケースもあります。また、以前アンケートに寄せられた不適切事例は、令和4年12月23日開催の社会保障審議会医療部会において不適切な事例として取り上げられる等、国へ適切な対応を求め際の有効な証拠となっています。

現在、国は、オンライン診療の場のさらなる拡大等について検討しています。これに対し、安心・安全で適切なオンライン診療を実施するために、事実としての問題点を指摘する必要があります。引き続き、ご参考となる情報をお寄せいただくよう、何卒ご協力をお願いします。

<https://www.med.or.jp/japanese/members/>

お知らせ欄「オンライン診療に関する事例登録フォーム」

※日医会員のIDとパスワードが必要になります。

IDは会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角で入力)です(宛名シール下部に印刷されている10桁の数字です)。

パスワードは生年月日の「西暦の下2桁,月2桁,日2桁」を並べた6桁の数字です(半角入力)。

例)「昭和37年(1962年)2月4日生まれ」の場合→「620204」



指定訪問看護ステーション向けオンライン資格確認 ポータルサイト開設等について

令和6年6月から、指定訪問看護ステーションにおけるオンライン請求・オンライン資格確認の運用が開始されます。今般、厚生労働省がオンライン資格確認・医療情報化支援基金関係の医療機関等向け総合ポータルサイトにおいて、訪問看護等に係るオンライン資格確認のページを開設しましたので、お知らせします。

記

【医療機関等向け総合ポータルサイト(オンライン資格確認)】

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=oqs_csm_top

■本ポータルサイトで案内されている情報

- ・オンライン請求・オンライン資格確認の概要・仕組み
- ・指定訪問看護ステーションへのオンライン請求・オンライン資格確認の導入手順
- ・導入に際しての指定訪問看護ステーションへの財政支援

※今後、順次情報の更新、説明動画の掲載が実施される予定。



人免疫グロブリン製剤の限定出荷と 今後の見込みについて

今般、厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課より標記の事務連絡が発出されましたのでお知らせします。

人免疫グロブリン製剤については、6月1日号本紙にて既報のとおり、近年の需要の増加により在庫が逼迫し、血漿分画製剤の製造販売業者より限定出荷が行われている中で、安定供給の確保のためにも、必要量以上の大量購入や買い占めの行動を控えていただくよう厚労省が依頼していたところ です。

当該事務連絡は、一部の医療機関による大量購入等もあり、入手が困難な医療機関が散見されていることから、令和5年度需給計画を変更し、輸入製剤を追加輸入することについての周知するものです。

併せて、血漿分画製剤は、製造に時間を要すること、献血由来の製品であるため製造本数に限りがあることから、安定供給に向けた周知が依頼されていますので、改めて、一部の医療機関によるものとのことではございますが、必要量以上の大量購入や買い占めの行動を控えていただくようお願いしています。

令和5年度需給計画の変更箇所（人免疫グロブリン製剤）

(2.5g 換算 単位：本)

	需要見込	計	製造・輸入目標量			令和4年度末在庫量(見込)	供給可能量
			国内血漿由来	輸入血漿由来	遺伝子組換え		
変更後	<u>2,731,600</u>	<u>3,105,700</u>	2,386,600	<u>719,100</u>	—	623,000	<u>3,728,700</u>
変更前	<u>2,572,000</u>	<u>2,886,800</u>	2,386,600	<u>500,200</u>	—	623,000	<u>3,509,800</u>

※下線は変更箇所

「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う
実施上の留意事項について」等の一部改正について
10月1日から

新たに医療機器が保険適用されたことにともない、留意事項通知等が下記のとおり変更され、10月1日から適用されていますので、お知らせします。

記

▶新たに機能区分及び保険償還価格が設定された医療機器等(令和5年10月1日適用)

1. 生体信号反応式運動機能改善装置

【販売名】 HAL 医療用下肢タイプ

【決定区分】 区分 A3(特定包括)(特定の診療報酬項目において包括的に評価されているもの(留意事項等の変更を伴う))

【主な使用目的】

本品は以下の緩徐進行性の神経・筋疾患患者を対象として、本品を間欠的に装着し生体電位信号に基づき下肢の動きを助けつつ歩行運動を繰り返すことで、歩行機能を改善することを目的として使用する。

<関連する通知の改正>

(1) 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(令和4年3月4日付け保医発0304第1号)の一部改正(令和5年9月29日保医発0929第1号)

別添1「医科診療報酬点数表に関する事項 第9部処置」を次のように改める。

(改正箇所下線部)

改正前	改正後
J118-4 歩行運動処置(ロボットスーツによるもの) (1) 脊髄性筋萎縮症, 球脊髄性筋萎縮症, 筋萎縮性側索硬化症, シャルコー・マリー・トゥース病, 遠位型ミオパチー, 封入体筋炎, 先天性ミオパチー又は筋ジストロフィーの患者に対して, ロボットスーツを装着し, 関連学会が監修する適正使用ガイドを遵守して, 転倒しないような十分な配慮のもと歩行運動を実施した場合に算定する。 (2) ~ (4) (略)	J118-4 歩行運動処置(ロボットスーツによるもの) (1) 脊髄性筋萎縮症, 球脊髄性筋萎縮症, 筋萎縮性側索硬化症, シャルコー・マリー・トゥース病, 遠位型ミオパチー, 封入体筋炎, 先天性ミオパチー, <u>筋ジストロフィー又はHTLV-1関連脊髄症(HAM)若しくは遺伝性痙性対麻痺による痙性対麻痺を有する患者</u> に対して, ロボットスーツを装着し, 関連学会が監修する適正使用ガイドを遵守して, 転倒しないような十分な配慮のもと歩行運動を実施した場合に算定する。 (2) ~ (4) (略)

2. 心臓・中心循環系用カテーテルガイドワイヤ

【販売名】 HL ガイドワイヤ4

〔決定区分〕 区分 B1 (個別評価) (材料価格が個別に設定され評価されているもの)

〔決定機能区分〕

013 経皮的冠動脈形成術用カテーテル用ガイドワイヤー (1) 一般用

〔主な使用目的〕

本品は経皮的冠動脈形成術 (PTCA) において、カテーテル等の位置調整及び移動の補助に用いられる機器である。

<関連する告示・通知の改正>

(1) 「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」(令和4年3月4日付け保医発0304第9号)の一部改正(令和5年9月29日保医発0929第1号)

〔I 診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)(以下「算定方法告示」という。)別表第一医科診療報酬点数表に関する事項〕を次のように改める。(改正箇所下線部)

改正前	改正後
1・2 (略)	1・2 (略)
3 在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)に係る取扱い	3 在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料(フィルムを除く。)に係る取扱い
107 経皮的血管形成術用穿刺部止血材料 (1) (略) (2) 経皮的血管形成術用穿刺部止血材料のうち、薬事承認又は認証上、類別が「医療用品(4)整形用品」であって、一般的名称が「吸収性局所止血材」若しくは「コラーゲン使用吸収性局所止血材」又は類別が「機械器具(30)結紮器及び縫合器」であって、一般的名称が「単回使用自動縫合器」であるものについては、 <u>経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術、経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)、経皮的冠動脈ステント留置術又は末梢動脈(頸動脈、腎動脈、四肢の動脈)の経皮的血管形成術、脳血管内手術、経皮的脳血管形成術、経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術、経皮的脳血栓回収術又は経皮的脳血管ステント留置術を実施した患者の早期離床を目的とした大腿動脈穿刺部位の止血を行う場合に、5Fr以上のイントロデューサーシースを使用した場合、1セットについてのみ算定できる。</u> なお、経皮的血管形成術用穿刺部止血材料を使用する医療上の必要性について、レセプトの摘要欄に記載すること。	107 経皮的血管形成術用穿刺部止血材料 (1) (略) (2) 経皮的血管形成術用穿刺部止血材料のうち、薬事承認又は認証上、類別が「医療用品(4)整形用品」であって、一般的名称が「吸収性局所止血材」若しくは「コラーゲン使用吸収性局所止血材」又は類別が「機械器具(30)結紮器及び縫合器」であって、一般的名称が「単回使用自動縫合器」であるものについては、 <u>次のいずれかに該当する場合に算定できる。</u> なお、経皮的血管形成術用穿刺部止血材料を使用する医療上の必要性について、レセプトの摘要欄に記載すること。

(新設)	<u>ア 経皮的冠動脈形成術，経皮的冠動脈粥腫切除術，経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの），経皮的冠動脈ステント留置術又は末梢動脈（頸動脈，腎動脈，四肢の動脈）の経皮的血管形成術，脳血管内手術，経皮的脳血管形成術，経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術，経皮的脳血栓回収術又は経皮的脳血管ステント留置術を実施した患者の早期離床を目的とした大腿動脈穿刺部位の止血を行う場合に，5Fr以上のイントロデューサーシースを使用した場合，1セットについてのみ算定できる。</u>
(新設)	<u>イ 経皮的心房中隔欠損閉鎖術，経皮的卵円孔開存閉鎖術，経皮的カテーテル心筋焼灼術，下大静脈フィルター留置術，下大静脈フィルター除去術又は心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）（右心カテーテル）を実施した患者の早期離床を目的とした大腿静脈穿刺部位の止血を行う場合に，6Fr以上12Fr以下のイントロデューサーシースを使用した症例であって，当該患者が手術の翌々日まで帰宅した場合に限り一連につき4セットまで算定できる。</u>

3. 心臓用カテーテルイントロデューサキット

【販売名】 ゴアドライシール フレックス イントロデューサシース

〔決定区分〕 区分 B2（個別評価）（材料価格が個別に設定され評価されているもの（機能区分の定義等の変更を伴う））

〔決定機能区分〕

- ・001 血管造影用シースイントロデューサーセット
 - （4）大動脈用ステントグラフト用②特殊型 ア 65cm 未満
- ・001 血管造影用シースイントロデューサーセット
 - （4）大動脈用ステントグラフト用②特殊型 イ 65cm 以上

〔主な使用目的〕

本品は，血管へのカテーテルの配置を容易にするために用いる。

<関連する告示・通知の改正>

- (1) 「特定保険医療材料の定義について」(令和4年3月4日付け保医発0304第12号)の一部改正(令和5年9月29日保医発0929第1号)

「特定保険医療材料の定義について」の別表Ⅱに次を加える。 (改正箇所下線部)	
改正前	改正後
001 血管造影用シースイントロデューサーセット (1)・(2) (略) (3) 機能区分の定義 ①～⑤ (略) ⑥ 大動脈用ステントグラフト用・特殊型・65cm未満 次のいずれにも該当すること。 ア 大動脈用ステントグラフト若しくは自己拡張型人工生体弁システムを留置する際又はリード一体型ペースメーカーを植え込む際に使用するものであること。 イ～エ (略) ⑦ 大動脈用ステントグラフト用・特殊型・65cm以上 次のいずれにも該当すること。 ア 大動脈用ステントグラフト若しくは自己拡張型人工生体弁システムを留置する際又はリード一体型ペースメーカーを植え込む際に使用するものであること。 イ～エ (略) ⑧ (略)	001 血管造影用シースイントロデューサーセット (1)・(2) (略) (3) 機能区分の定義 ①～⑤ (略) ⑥ 大動脈用ステントグラフト用・特殊型・65cm未満 次のいずれにも該当すること。 ア 大動脈用ステントグラフト若しくは自己拡張型人工生体弁システム又は <u>先天性心疾患を有する患者に対しバルーン拡張型人工生体弁セット若しくは経カテーテル人工生体弁セット(ステントグラフト付き)</u> を留置する際又はリード一体型ペースメーカーを植え込む際に使用するものであること。 イ～エ (略) ⑦ 大動脈用ステントグラフト用・特殊型・65cm以上 次のいずれにも該当すること。 ア 大動脈用ステントグラフト若しくは自己拡張型人工生体弁システム又は <u>先天性心疾患を有する患者に対しバルーン拡張型人工生体弁セット(ステントグラフト付き)</u> を留置する際又はリード一体型ペースメーカーを植え込む際に使用するものであること。 イ～エ (略) ⑧ (略)

4. コラーゲン使用吸収性局所止血材

【販売名】 バスケード MVP

〔決定区分〕 区分 B2 (個別評価) (材料価格が個別に設定され評価されているもの (機能区分の定義等の変更を伴う))

〔決定機能区分〕

107 経皮的血管形成術用穿刺部止血材料

〔主な使用目的〕

経皮的カテーテル処置後の大腿静脈アクセス部の止血

<関連する告示・通知の改正>

(1) 「特定保険医療材料の定義について」(令和4年3月4日付け保医発0304第12号)の一部改正(令和5年9月29日保医発0929第1号)

「特定保険医療材料の定義について」の別表Ⅱに次を加える。 (改正箇所下線部)	
改正前	改正後
<p>107 経皮的血管形成術用穿刺部止血材料定義 次のいずれにも該当すること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 次のいずれかに該当すること。</p> <p>① (略)</p> <p>② 薬事承認又は認証上、類別が「医療用品(4)整形用品」であって、一般的名称が「吸収性局所止血材」又は「コラーゲン使用吸収性局所止血材」、又は類別が「機械器具(30)結紮器及び縫合器」であって、一般的名称が「単回使用自動縫合器」である場合、経皮的冠動脈形成術後(特殊カテーテルによるものを含む)、経皮的冠動脈粥腫切除術後、経皮的冠動脈ステント留置術後、末梢動脈(頸動脈、腎動脈、四肢の動脈)の経皮的血管形成術後及び脳血管内の処置後の大腿動脈穿刺部位の止血を目的に使用するものであること。</p> <p>(3) 次のいずれかに該当すること。</p> <p>①~② (略)</p> <p>③ 動脈穿刺部位を生体吸収性材料で閉鎖する材料であること。</p>	<p>107 経皮的血管形成術用穿刺部止血材料定義 次のいずれにも該当すること。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 次のいずれかに該当すること。</p> <p>① (略)</p> <p>② 薬事承認又は認証上、類別が「医療用品(4)整形用品」であって、一般的名称が「吸収性局所止血材」又は「コラーゲン使用吸収性局所止血材」、又は類別が「機械器具(30)結紮器及び縫合器」であって、一般的名称が「単回使用自動縫合器」である場合、経皮的冠動脈形成術後(特殊カテーテルによるものを含む)、経皮的冠動脈粥腫切除術後、経皮的冠動脈ステント留置術後、末梢動脈(頸動脈、腎動脈、四肢の動脈)の経皮的血管形成術後及び脳血管内の処置後の<u>大腿動脈又は経皮的カテーテル処置後の</u>大腿静脈穿刺部位の止血を目的に使用するものであること。</p> <p>(3) 次のいずれかに該当すること。</p> <p>①~② (略)</p> <p>③ 動脈穿刺部位<u>又は静脈穿刺部位</u>を生体吸収性材料で閉鎖する材料であること。</p>

保険医療部通信

(第382報)

令和4年4月診療報酬改定について

令和4年4月診療報酬改定に関する「Q&A」(その19)

◇厚生労働省疑義解釈資料(その58/10月19日付)

質問・未確定事項等	回 答
〔人格検査〕	
Q1 「D284」人格検査「2」操作が複雑なものについて、MMPI-3は含まれるか。	A1 含まれる。

DPC 関係

質問・未確定事項等	回 答
〔DPC〕	
Q1 地域医療支援病院であって、紹介受診重点医療機関として公表された病院において、医療機関別係数は「A204」地域医療支援病院入院診療加算及び「A204-3」紹介受診重点医療機関入院診療加算に係る機能評価係数Iを合算して計算するのか。	A1 両方の機能評価係数Iを合算することはできない。どちらか一方を機能評価係数Iに合算すること。

地域医療部通信

脳卒中登録にご協力を！

平成30年12月 脳卒中・循環器病対策基本法が成立し、
脳卒中对策の整備は国の重要な課題となっています

—本事業は個人情報保護条例等には抵触しません—

脳卒中登録事業は、平成元年より府医が京都府からの委託を受けて行っております。京都府内の脳卒中患者の発症と経過に関する情報を継続的に収集、保存し、脳卒中発生の頻度と疫学的特性を把握し、予防から社会復帰までの一貫した脳卒中对策の推進を図ることが目的です。

そのためには、脳卒中登録数を増やすことが何よりも重要な課題となります。個人情報保護の観点から、この脳卒中登録に対しても慎重になる医療機関あるいは医師がおられることと存じますが、府医の脳卒中登録事業は、京都府個人情報保護条例における収集の制限の「適用除外」に該当し、その旨は平成16年11月に京都府からも各医療機関に通知されております。

先般、関係各位にはこの旨を詳述した協力依頼文書と脳卒中患者登録票をお送りしたところですが、ここにあらためて登録へのご協力をお願い申し上げる次第です。登録には、裏面にごございます脳卒中患者登録票が必要となりますので、下記担当課へご連絡いただきましたら、脳卒中患者登録票と専用の返信用封筒を送付させていただきます。

なお、現在お願いしているのは、令和4年・5年発症の脳卒中患者登録票の届出です。1件につき350円の登録手数料を本年度末に集計の上お支払いさせていただきます。

問い合わせ先：京都府医師会 地域医療2課 脳卒中登録係（電話：075-354-6113）

秘 脳卒中患者登録票



京都府医師会 (令和4年4月改定)

患者名	カナ		性別	生年月日			年齢
	漢字			1.男 2.女	1.明 3.昭 2.大 4.平	年 月 日	
住所	〒 ー 京都府						① 医療機関控用

① 病型分類	<input type="checkbox"/> 1.脳梗塞 <input type="checkbox"/> 2.脳出血 <input type="checkbox"/> 3.クモ膜下出血 <input type="checkbox"/> 4.分類不能の脳卒中発作 <input type="checkbox"/> 5.その他()		<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.脳血栓 <input type="checkbox"/> 3.脳塞栓		⑨ 手術の有無	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.なし <input type="checkbox"/> 3.あり
	② 発症年月日	令和 年 月 日 時頃 24時間表示で記入(0~23)		⑩ t-PAの有無	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.なし <input type="checkbox"/> 3.あり	⑪ 発症1か月後の療養場所 <input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.在宅(自院通院) (転院先または施設名) 所在地 _____ 郡・市・区 <input type="checkbox"/> 3.施設入所 機関名 _____ <input type="checkbox"/> 4.自院入院中 担当科名 _____ <input type="checkbox"/> 5.在宅(他院通院) <input type="checkbox"/> 6.他院転院
③ 発症後の初診年月日	令和 年 月 日 時頃 24時間表示で記入(0~23)		⑫ 発症1か月後のADL	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.介助なし <input type="checkbox"/> 3.一部介助 <input type="checkbox"/> 4.寝たり座ったりの状態で全面介助 <input type="checkbox"/> 5.寝たきりの状態で全面介助 <input type="checkbox"/> 6.死亡(令和 年 月 日)		
④ 初発・再発	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.初発 <input type="checkbox"/> 3.再発 (平成 年 月 日初発) <input type="checkbox"/> 令和	⑬ 発症1か月後の認知症の有無	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.なし <input type="checkbox"/> 3.軽度 <input type="checkbox"/> 4.中等度 <input type="checkbox"/> 5.高度			
⑤ 意識障害	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.なし <input type="checkbox"/> 3.あり		<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.開眼(覚醒)している <input type="checkbox"/> 3.刺激で開眼(覚醒)しうる <input type="checkbox"/> 4.刺激で開眼(覚醒)しない		⑭ 既往歴	高血圧 糖尿病 不整脈 心房細動 脂質異常症 <input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.なし <input type="checkbox"/> 3.未治療 <input type="checkbox"/> 4.治療中 <input type="checkbox"/> 5.中断
	⑥ 血圧/脈拍	/ mmHg 脈拍(<input type="checkbox"/> 1.整 <input type="checkbox"/> 2.不整)		<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.なし <input type="checkbox"/> 3.軽度 <input type="checkbox"/> 4.中等度 <input type="checkbox"/> 5.高度		<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.吸わない <input type="checkbox"/> 3.禁煙(1年以上) <input type="checkbox"/> 4.1日20本以下 <input type="checkbox"/> 5.1日21本以上
⑦ 運動麻痺	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.なし <input type="checkbox"/> 3.あり		<input type="checkbox"/> 1.右片麻痺 <input type="checkbox"/> 2.左片麻痺 <input type="checkbox"/> 3.両側麻痺 <input type="checkbox"/> 4.その他・不明		酒	<input type="checkbox"/> 1.不明 <input type="checkbox"/> 2.飲まない <input type="checkbox"/> 3.ときどき飲む <input type="checkbox"/> 4.常時飲む
⑧ 実施検査	<input type="checkbox"/> 1.検査せず <input type="checkbox"/> 2.C T <input type="checkbox"/> 3.M R I <input type="checkbox"/> 4.脳血管写 <input type="checkbox"/> 5.その他の検査 <input type="checkbox"/> 1.髄液検査 <input type="checkbox"/> 2.RI <input type="checkbox"/> 3.エコー <input type="checkbox"/> 4.その他()					

届出医療機関名

名称 (担当科名) _____

所在地 担当医名 _____

TEL () 届出年月日 令和 年 月 日

(問合せ先) 京都府医師会地域医療2課 脳卒中登録係 (TEL 075-354-6113)

京都府からのお知らせ

全国がん登録の届出は 12 月末までです。

1. 全国がん登録の届出をしなければならない施設は？

すべての病院と京都府の指定を受けた施設です。

これらの施設が、がんの診断・治療を行った場合には、その情報を届け出なければなりません。

※「がん登録等の推進に関する法律」(平成25年法律第111号)で定められています。

2. 今年の12月末が期限となる届出の対象症例は？

令和4年1月1日～令和4年12月31日までの間に、初回のがんの診断・治療を行った患者の症例です。

3. 届出の方法は？

オンラインによる届出制度が導入されていますが、令和5年6月よりセキュリティ強化や機能拡張のためシステムはリニューアルされており、継続利用にはセットアップの実施が必要です。

がん登録オンラインシステムに関する詳細、各種手順書は以下の Web サイトをご確認ください。

URL：https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/hospital/e-rep/online.html

HOME > がん対策情報 > がん登録 > 全国がん登録 > 病院・診療所向け情報 > 全国がん登録への届出 > がん登録オンラインシステム

① 継続利用 (これまでがん登録オンラインシステムをご利用でセットアップが未実施の医療機関)

「【リーフレット手順書】の GTOL セットアップ手順」をクリック！

② 新規利用 (初めてがん登録オンラインシステムをご利用される医療機関)

「外部サイト：GTOL ご利用手続きサイトへ」をクリック！

GTOLのご利用に関する資料

GTOLのご利用に必要な資料は下記リンク先よりご参照ください。

| 【リーフレット・手順書】

① [GTOLセットアップ手順 \(初回セットアップの概要手順\) \(2023/5/31 Update\)](#)

[GTOLサインイン手順 \(2回目以降サインイン時の概要手順\)](#)

[パスワード不明時のご案内 \(パスワード変更の概要手順\)](#)

[GTOL証明書更新手順 \(Windows10.11版\) \(2023/5/30 Update\)](#)

[GTOL証明書更新手順 \(mac12.13版\) \(2023/5/30 Update\)](#)

◆ 全国がん登録への届出 **がん登録オンラインシステム**

【重要なお知らせ】がん登録オンラインシステム (GTOL) 利用再開について
準備に時間を要してしまいました新たな「がん登録オンラインシステム」につきまして、以下の日時にてシステムのご利用を再開させていただきます。この度は長らくご不便をおかけいたしました誠に申し訳ございません。

これから利用する、あるいはご利用をご検討されている医療機関の皆様へ
本ページに記載された内容や、関連資料をご覧ください、ぜひGTOLによるオンライン届出をご検討ください。ご利用手続きは、以下のリンク先から申請用サイトにてお願いいたします。

② [外部サイト：GTOLご利用手続きサイトへ](#)
(パソコンサイトからのみご利用可能です)

※がん登録オンラインシステムに関するご照会は以下の問合せフォームよりお願いします。

URL：<https://entry.gtol.ncc.go.jp/questions/create>

4. 届出項目の記載方法は？

「全国がん登録 届出マニュアル 2022」を以下の Web サイトからご確認ください。

URL : https://ganjoho.jp/reg_stat/can_reg/national/hospital/rep-manu.html

HOME > がん対策情報 > がん登録 > 全国がん登録 > 病院・診療所向け情報 >
全国がん登録 届出マニュアル 2022

[届出内容に関する問い合わせ先] 一般社団法人京都府医師会地域医療2課 075-354-6113

5. <診療所>新たに全国がん登録の届出を行いたい／指定を受けているが届出を中止したい場合は？

京都府知事に指定申請書／辞退届出書の提出が必要となります。届出様式等の詳細につきましては、京都府のホームページをご確認ください。

URL : <https://www.pref.kyoto.jp/gan/gantouroku.html>

※診療所の指定，辞退等に関する問い合わせ先：京都府健康福祉部健康対策課 075-414-4766

京都府立医科大学附属病院・京都府医師会共催
「地域連携の集い」
— 地域全体が集結する医療のために —

京都府立医科大学附属病院と府医では、患者さんの身近な地域にあって頼りになる「かかりつけ医」と、高度で専門的な医療を提供する大学病院が力を合わせて地域の医療を支えていくために、円滑な連携ができるような取組みを進めております。地域医療機関と大学病院が連携することにより提供できる、レベルの高い包括的なケアの実際をご実感いただきたいと考え、共催により下記のとおり「地域連携の集い」を開催いたします。

京都府立医科大学附属病院と地域の医療機関の皆さまとの、お互いに「顔の見える関係」を構築してゆくためにも、ご多用中とは存じますが、是非ともご参加いただきますようお願いいたします。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、Webまたは会場のハイブリッド開催とさせていただきます。

日 時	令和6年1月13日(土) 午後2時～午後4時30分		
形 式	ハイブリッド開催 (Webまたは会場) (Zoom ウェビナー)		
会 場	京都府立医科大学 基礎医学学舎 第2講義室 (会場定員 60名)		
内 容	総合司会	京都府立医科大学附属病院 地域医療推進部長	高山 浩一氏
	(1) 開会挨拶	京都府立医科大学附属病院 病院長	佐和 貞治氏
		京都府医師会 会長	松井 道宣氏
	(2) 来賓挨拶	京都大学医学部附属病院 病院長	高折 晃史氏
	(3) 新任教授紹介	京都府立医科大学附属病院総合診療科 教授	四方 哲氏
		京都府立医科大学附属病院麻酔科 教授	天谷 文昌氏
	(4) シンポジウム		
	テーマ「働き方改革への取り組み」		
	座長	京都府立医科大学附属病院 地域医療推進部長	高山 浩一氏
	1. 「働き方改革の概要」		
		京都府立医科大学附属病院 地域医療推進部長	高山 浩一氏
	2. 「(演題名未定)」		
		京都府立医科大学附属病院 消化器内科 教授	伊藤 義人氏
	3. 「2次救急受け入れ病院での働き方改革」		
		独立行政法人地域医療機能推進機構鞍馬口医療センター 病院長	水野 敏樹氏
	4. 「救急医療体制は維持できるか～救命救急センターの立場から～」		
		京都第一赤十字病院救命救急センター センター長	高階謙一郎氏
	総合討論		
	(5) 病院全体の質疑応答		
	(司会)	京都府立医科大学附属病院地域医療連携室長	窪田 健氏
	(6) 閉会挨拶	京都府立医科大学附属病院 副病院長	高山 浩一氏
対 象	医療関係者 (どの職種の方でも参加可能です)。		
参 加 費	無料		
共 催	京都府立医科大学附属病院 京都府医師会		

申込方法は裏面にあります。

ご参加には事前の参加登録が必須です。

Web参加の方

下記 URL もしくは右記 QR コードよりお申し込みください。

<http://tiny.cc/kpumtudoj>

事前参加登録



当日の視聴手順

入力されたメールアドレス宛に当日参加用 URL が届きます。開始時間になりましたらアクセスしてください（※参加用 URL は no-reply@zoom.us より届きます）。

注意事項

- ・一医療機関から複数名参加される場合であっても申し込みは一人ずつをお願いします。
- ・当日までにテスト環境で接続テストを実施いただくことをお勧めしております。

テスト環境 URL <https://zoom.us/test>

テスト環境



会場参加の方

下記をご記入の上、**1月5日(金)** までに FAX (075 - 251 - 5241) にてお送りください。

「地域連携の集い」会場参加申し込み 京都府立医科大学附属病院 地域医療連携室行

医療機関名 (施設名)		連絡先 FAX 番号	
住所		職種	
連絡先 電話番号		氏名 (姓・名)	

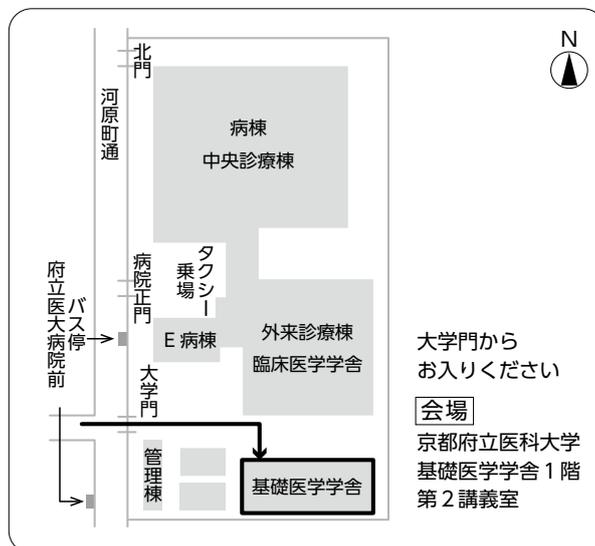
※新型コロナウイルス感染症の感染状況により開催形態が変更となる場合がございますのでご了承ください。

※定員オーバーや開催形態の変更の場合、ご記載の電話番号（または FAX 番号）にお知らせします。

※当日は公共交通機関でお越しください。

問い合わせ先：

京都府立医科大学附属病院
地域医療連携室（担当：藤本・宮浦）
TEL：075 - 251 - 5286



令和5年度 第2回 JMAT 京都研修会開催のご案内

府医では、災害時医療対策の一環として『JMAT 京都』を立ち上げ、災害医療支援チームの体制構築に取り組んでおります。この度、令和5年度第2回 JMAT 京都研修会の日程が確定いたしましたので、皆様にご案内いたします。

本内容では、災害時には健康管理・医療支援は、災害医療チーム（JMAT）の主要な任務となり、被災地では、多くの医療関係者が連携を取りながら、避難住民のための活動に従事することが想定されます。その時に役立つ考え方の1つとして「ヒモバシルトキ」を学んでいきたいと考えております。

「ヒモバシルトキ」とは、建物被害や浸水、ライフラインの障害等により、「ヒト」やインフラを含む「モノ」が不足するため「ヒト」、「モノ」、「場」、「システム」、「ルール」、「時」を検討し、それらの調整を図りながらの課題解決が有用であり、この概念を各要素の頭文字をとり、「ヒモバシルトキ」と称されております。

つきましては、下記 URL にアクセスいただき、ご参加いただけましたら幸いです。

運営上の都合で誠に申し訳ございませんが、参加人数には限りがございますのでお早めにお申し込みください。

記

1. 開催日時 令和5年12月22日(金) 午後2時～午後4時

2. 開催内容

場 所 : 京都府医師会館3F会議室

①講 演 (仮)「ヒモバシルトキ」の概要説明

講師：調整中

②グループワーク (仮)「ヒモバシルトキ」

講師：京都第一赤十字病院 基幹災害医療センター長／統括 DMAT 高階謙一郎氏

市立福知山市民病院 小児外科医長・地域救命救急センター

深田 良一氏

京都中部総合医療センター 副院長兼循環器内科部長兼救急部長

計良 夏哉氏

3. 参加者 京都府医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会

4. 申 込 こちらの URL にアクセスいただきお申し込みください。

https://entry-form.site/jmat_kyoto/



5. 締 切 令和5年12月18日(月)

※人数が上限を超えた場合、お断りさせていただきます。

2023年 12月 京都市(乙訓2市1町)病院群輪番編成表

太字の病院は小児科の当番病院です。

日	曜	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	金	バプテスト	西 京 都	明 石	医 仁 会 武 田
2	土	賀 茂	三 菱 京 都	新 京 都 南	共 和
③	日	京都下鴨 バプテスト	長岡京 京都桂	京都市立 京都九条	蘇生会 むかいじま
4	月	バプテスト	洛西シミズ	京 都 南	共 和
5	火	民医連あすかい	民医連中央	堀 川	蘇 生 会
6	水	京 都 下 鴨	泉 谷	吉 祥 院	洛和会音羽
7	木	西 陣	向 日 回 生	十 条	医 仁 会 武 田
8	金	バプテスト	太 秦	原 田	愛生会山科
9	土	室 町	京 都 桂	洛和会丸太町	洛和会音羽
⑩	日	民医連あすかい 民医連あすかい	河 端 <small>洛西</small> <small>ニュータウン</small> 京都桂	京都市立 京都市立	な ぎ 辻 伏見桃山
11	月	富 田	民 医 連 中 央	京 都 回 生	医 仁 会 武 田
12	火	室 町	千 春 会	武 田	蘇 生 会
13	水	洛 陽	新 河 端	京 都 武 田	洛和会音羽
14	木	バプテスト	三 菱 京 都	吉 川	愛生会山科
15	金	大 原 記 念	内 田	明 石	医 仁 会 武 田
16	土	京 都 か ら す ま	泉 谷	武 田	京 都 医 療
⑬	日	賀 茂 賀 茂	<small>洛西</small> <small>ニュータウン</small> 京都桂	京都市立 新京都南	金 井 医仁会武田
18	月	バプテスト	内 田	洛和会丸太町	京 都 久 野
19	火	京 都 博 愛 会	民医連中央	相 馬	医 仁 会 武 田
20	水	愛 寿 会 同 仁	シ ミ ズ	武 田	洛和会音羽
21	木	バプテスト	西 京 都	京 都 回 生	医 仁 会 武 田
22	金	バプテスト	新 河 端	吉 祥 院	洛和会音羽
23	土	賀 茂	向 日 回 生	十 条	洛和会音羽
⑭	日	バプテスト 巴プテスト	長岡京 三菱京都	京都市立 京都九条	金 井 大 島
25	月	民医連あすかい	洛西シミズ	原 田	医 仁 会 武 田
26	火	京 都 下 鴨	民医連中央	堀 川	共 和
27	水	西 陣	太 秦	京 都 武 田	洛和会音羽
28	木	バプテスト	千 春 会	吉 川	大 島
29	金	バプテスト 愛寿会同仁	河 端 京 都 桂	京都回生 新京都南	むかいじま 洛和会音羽
30	土	京都博愛会 京都博愛会	シ ミ ズ 京 都 桂	相 馬 洛和会丸太町	洛和会音羽 伏見桃山
⑮	日	京都からすま 京都からすま	三菱京都 <small>洛西</small> <small>ニュータウン</small>	京都九条 京都市立	な ぎ 辻 医仁会武田

病院群輪番協力医療機関一覧(五十音順)

A ブ ロ ッ ク		B ブ ロ ッ ク		C ブ ロ ッ ク		D ブ ロ ッ ク	
病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号
愛寿会同仁病院	431-3300	泉 谷 病 院	466-0111	明 石 病 院	313-1453	愛生会山科病院	594-2323
賀 茂 病 院	493-3330	太 秦 病 院	871-7711	吉 祥 院 病 院	672-1331	医仁会武田総合病院	572-6331
京都大原記念病院	744-3121	内 田 病 院	882-6666	京都回生病院	311-5121	大 島 病 院	622-0701
京都からすま病院	491-8559	河 端 病 院	861-1131	京都九条病院	691-7121	金 井 病 院	631-1215
京都下鴨病院	781-1158	京 都 桂 病 院	391-5811	京都市立病院	311-5311	京都医療センター	641-9161
京都博愛会病院	781-1131	京都民医連中央病院	861-2220	京都武田病院	312-7001	京都久野病院	541-3136
京都民医連あすかい病院	701-6111	京都済生会病院	955-0111	京 都 南 病 院	312-7361	共 和 病 院	573-2122
富 田 病 院	491-3241	シ ミ ズ 病 院	381-5161	十条武田リハビリ病院	671-2351	蘇生会総合病院	621-3101
西 陣 病 院	461-8800	新 河 端 病 院	954-3136	新京都南病院	322-3344	な ぎ 辻 病 院	050-3091-1131
日本パプテスト病院	781-5191	千 春 会 病 院	954-2175	相 馬 病 院	463-4301	伏見桃山総合病院	621-1111
室 町 病 院	441-5859	長 岡 京 病 院	955-1151	武 田 病 院	361-1351	むかいじま病院	612-3101
洛 陽 病 院	781-7151	西 京 都 病 院	381-5166	原 田 病 院	551-5668	洛和会音羽病院	593-4111
		三 菱 京 都 病 院	381-2111	堀 川 病 院	441-8181		
		向 日 回 生 病 院	934-6881	吉 川 病 院	761-0316		
		洛 西 シ ミ ズ 病 院	331-8778	洛和会丸太町病院	801-0351		
		洛西ニュータウン病院	332-0123				

〔留意事項〕

- ①病院群の輪番制度は、あくまでも補完的な施策であることから、最終的なよりどころとしてご利用ください。最寄りあるいは知り合いの病院で処理し得る時は、できるだけ処理していただくこと。困ったときのみ利用してください。
- ②当番病院を利用される場合は、必ず事前に当番病院に電話連絡をし、原則として当番病院の医師の了解を得た上で後送してください。さらにできれば、患者に診療情報提供書を持たせてください。
- ③ **太字** の病院は小児科専用の当番病院で、全域を対象とします。この他は一般(内科, 外科)の後送病院です。
- ④休日・日曜日の当番日に、1ブロックに2つの病院名もしくは同一病院名が左右に分けて書かれておりますが、左側が昼間(8:00～18:00)で右側は夜間(18:00～翌朝8:00)の当番病院です。
- ⑤当番病院の診療応需時間(原則として)
- ・休 日 ア. 午前8時～午後6時
イ. 午後6時～翌朝午前8時
 - ・休日以外 午後6時～翌朝午前8時
- なお休日とは、日曜日・祝日・振替休日および年末年始(12月29日～1月3日)をいいます。

太字 の病院は小児科のみの当番病院です(対象=全域)。ご注意ください。

京 都 府 医 師 会 長・松 井 道 宣
京 都 府 病 院 協 会 長・若 園 吉 裕
京 都 私 立 病 院 協 会 長・清 水 鴻 一 郎

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和5年度
第3回 総合診療力向上講座
「緩和ケアの実際」のご案内

「総合診療力向上講座」は、開業医のみならず、勤務医や研修医、介護福祉施設の医師等の幅広い現場で活躍されている方々に、総合診療力向上に資する研修で、総合診療のトピックスや入院、外来診療そして在宅医療にも役立つエビデンスに基づく診断について、座学を中心とした形式で開催しております。

今年度、第3回の総合診療力向上講座は、「緩和ケアの実際」をメインテーマに、京都市立病院緩和ケア科部長 大西佳子先生、京都府立医科大学疼痛・緩和ケア科 病院助教 永井義浩先生、京都府立医科大学大学院医学研究科疼痛・緩和医療学教室教授・京都府立医科大学教育センター長 天谷文昌先生に、それぞれ緩和ケアについてご講演いただきます。

ACPについての住民への啓発が各地で行われつつある昨今、医師にとっても患者が終末期を迎える際に、緩和ケアは不可欠なものになると思われ、今後の日常診療に役立つ内容のご講演となっております。

是非、お申し込みの上、ご参加ください。

第3回「総合診療力向上講座」

と き	令和5年11月25日(土) 午後2時30分～午後4時30分
と ころ	府医会館より配信 ※ Web 会議システム ZOOM を用います。
テ ー マ	「緩和ケアの実際」
内 容	講演1 「がん疼痛の緩和ケア」 京都市立病院緩和ケア科 部長 大西 佳子 氏 講演2 「疼痛以外の身体症状の緩和ケア」 京都府立医科大学 疼痛・緩和ケア科 病院助教 永井 義浩 氏 講演3 「京都における緩和ケアのとりくみ」 京都府立医科大学大学院医学研究科疼痛・緩和医療学教室 教授 京都府立医科大学 教育センター長 天谷 文昌 氏
対 象	医師
参 加 費	無料
申 込 込 込	右記 QR コードより申し込みフォームにアクセスいただき、 必要事項をご記入ください。 <u>当センターホームページ申し込みフォームからもお申し込みできます。</u>
締 切	研修会の前日11月24日までにお申し込みください。 前日の夕方頃に招待メールをお送りします。



日医生涯教育カリキュラムコード：81. 終末期のケア (1.5 単位)

修了証 令和5年度以降，原則，研修会ごとに修了証（日医生涯教育講座の受講証明書）は発行しないことになりました（京都医報3月15日号参照）。

届出等で修了証（受講証明書）の発行が必要な場合は，申請してください。

なお，開始早々の退出や30分未満の参加については，単位付与されませんのでご了承ください。

※受講確認のため，1人1台の通信端末（PC等）でご参加ください。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

(TEL：075-354-6079 / FAX：075-354-6097 / Mail：zaitaku@kyoto.med.or.jp)

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和5年度

第3回 「京都在宅医療塾 探究編」のご案内

今年度、第3回「京都在宅医療塾 探究編」は、昨年度に続き、京都府リハビリテーション教育センターに企画を依頼し、京都府立医科大学リハビリテーション医学教室の先生方を講師に迎え、「次の一手～リハビリテーション診療の視点～」のテーマで講演会を開催いたします。日頃の診療に役立つリハビリテーション診療のコツをQ&A形式で紹介していただきます。

是非、ご参加ください。

第3回 「京都在宅医療塾 探究編」

と き	令和5年12月2日(土) 午後2時～午後4時	
と ころ	京都府医師会館 2階 212-213 会議室と Web とのハイブリッド開催	
テ ー マ	「次の一手～リハビリテーション診療の視点～」	
内 容	日頃の診療に役立つリハビリテーション診療のコツをQ&A形式で紹介する	
講 師	京都府立医科大学 リハビリテーション医学教室・ 集学的身体活動賦活法開発講座 准教授	沢田光思郎 氏
	Q 在宅で必要なリハビリテーションの知識とは	
	Q 在宅でリハビリテーションを始めることになったら	
	京都府立医科大学 リハビリテーション医学教室・ 京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部 講師	大橋 鈴世 氏
	Q 「あしが痛い」と言われたら	
	Q 「よく転ぶ」と言われたら	
	京都府立医科大学 リハビリテーション医学教室 講師	河崎 敬 氏
	Q 疲れやすいと言われたら	
	Q 心不全患者のかかりつけ医となったら	
	京都府立医科大学 リハビリテーション医学教室 助教	垣田 真里 氏
	Q 「むせやすい」と言われたら	
	Q がん患者のかかりつけ医となったら	
対 象	医師、看護師など多職種	
内 容	座学	
申し込み	右記 QR 画像より申込みフォームにアクセスして必要事項をご記入ください。 当センターホームページからもお申し込みできます。	



締 切 各研修会の前日 12月1日(金) 正午までにお申し込みください。

後 援 京都内科医会, 京都整形外科医会, 一般社団法人京都私立病院協会,
一般社団法人京都府病院協会, 公益社団法人京都府看護協会,
一般社団法人京都府訪問看護ステーション協議会
一般社団法人京都府理学療法士会, 一般社団法人京都府作業療法士会
一般社団法人京都府言語聴覚士会, 公益社団法人京都府介護支援専門員会

日医生涯教育カリキュラムコード：各 0.5 単位

47. 誤嚥 62. 歩行障害 73. 慢性疾患・複合疾患の管理 80. 在宅医療

修 了 証 令和5年度以降, 原則, 研修会ごとに修了証(日医生涯教育講座の受講証明書)は発行しないことになりました(京都医報3月15日号参照)。

届出等で修了証(受講証明書)の発行が必要な場合は, 申請してください。

開始早々の退出や30分未満の参加については, 単位付与されませんのでご了承ください。

※受講確認のため, 1人1台の通信端末(PC等)でご参加ください。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

(TEL: 075-354-6079 / FAX: 075-354-6097 / Mail: zaitaku@kyoto.med.or.jp)

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター 通信

令和5年度
第2回「総合診療力向上講座」
オンデマンド配信のご案内

8月26日(土)に、御所西ひらはらクリニック 院長 平原直樹氏を講師に迎え、第2回総合診療力向上講座を開催しました。当日ご参加いただいた方々からは、「男性女性ともに頻尿を訴える患者が多く、その治療法が良くわかった」「過活動膀胱、前立腺肥大の患者の薬を処方するのに役に立つ内容だった」という趣旨のお声を多数いただき、大変好評でした。

そこで本研修会を平原先生のご厚意を得て、オンデマンド配信することとなりました。

YouTubeを使用して、申し込み者限定で公開いたします。オンデマンド配信は、期間中は「いつでも」「何度でも」「学びたい部分だけでも」見ることができます。

是非、お申し込みの上、ご参加ください。

第2回「総合診療力向上講座」オンデマンド配信

と き	令和5年11月15日(水)～令和6年2月14日(水)まで視聴可能
と ころ	YouTubeを使用したオンデマンド配信
テ ー マ	「日常診療で遭遇する泌尿器科疾患 ～日常でいろいろあります泌尿器科～」
対 象	医師
講 師	御所西ひらはらクリニック 院長 平原 直樹 氏
参 加 費	無料
申し込み	右記QRコードより申し込みフォームにアクセスしていただき、必要事項をご記入ください。 当センターホームページからもお申し込みできます。 入力いただいたメールアドレスに動画URLが届きます。
締 切	<u>2月14日(水) 正午までにお申し込みください。</u> 動画は2月14日(水)までご視聴していただけますが、申し込みは当日の午前中で締め切らせていただきます。



※本配信による日医生涯教育講座カリキュラムコードの単位付与はありません。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL: 075-354-6079 / FAX: 075-354-6097 / Mail: zaitaku@kyoto.med.or.jp)

認知症対策通信

令和5年度 認知症対応力向上多職種協働研修会
(右京) 開催のご案内

この研修会は、参加する多職種が、協働の意義について共通の認識を持ち、フラットなコミュニケーションを通して、情報を共有できる内容とし、認知症ケアに携わる多様な職種の視点や役割を相互に理解し、認知症の人が必要とする支援を役割分担しながら、協働して提供できる地域連携体制を構築することを目的に開催します。

講演では、はまなかクリニック 濱中正嗣氏に「認知症の理解」をテーマにご講演をいただき、続いて右京区の認知症の取組報告、事例検討会を開催します。いずれも認知症を持つ人を患者に持つ先生や多職種にとって有益な内容ですので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

令和5年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 (右京医師会)

と き 令和6年1月13日(土) 午後2時～午後4時

と ころ 京都府医師会館 310 会議室

内 容 1. 基調講演

「認知症の理解」

はまなかクリニック

濱中 正嗣氏

「右京区の認知症の取組報告」

- ・京都市梅津地域包括支援センターの取組について

京都市梅津地域包括支援センター

高橋 岳大氏

- ・西院デイサービスセンターの取組について

高齢者施設 西院

所長

谷 和行氏

田端 重樹氏

2. 事例検討会

事例提供：京都市右京区認知症初期集中支援チーム

森村 実紀氏

対 象 かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者及び認知症サポート医、歯科医師認知症対応力向上研修修了者、薬剤師認知症対応力向上研修修了者、市町村等の認知症施策担当職員及び認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の多職種、その他開催地区医師会が認める者

定 員 会場：150名

参 加 費 無料

申し込み ホームページ申込フォームまたはFAXよりお申し込みを受け付けております。

共 催 京都府医師会、右京医師会、京都市右京在宅医療・介護連携支援センター

問い合わせ ・京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
TEL：075-354-6079 / FAX：075-354-6097
メール zaitaku@kyoto.med.or.jp
・京都市右京区在宅医療・介護連携支援センター
担当：中村弘美 (TEL 075-872-2511 / FAX 075-872-2900)

その他 受講修了者には京都府発行の修了証書を発行致します。

◆日医生涯教育カリキュラムコード 13. 医療と介護および福祉の連携：1単位
29. 認知能の障害：1単位

●ホームページ申込フォーム

右記のQRコードをお持ちのスマートフォンで読み取ると、申込フォームが表示されます。または、検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、当センターホームページからお申し込みできます。

<https://ssl.formman.com/form/pc/BaboqypSJQDbsqJR/>



● FAX

下記, 受講申込書を FAX でも受け付けております。
 ご都合の良い方法でお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

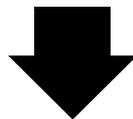
認知症対応力向上多職種協働研修会 (2024. 1. 12) 右京医師会担当
 受講申込書 (FAX)

職 種	
所 属 地 区	
ふ り が な	
氏 名	
所 属 機 関 名	
メ ー ル ア ド レ ス	
電 話 番 号	
F A X 番 号	
受 講 票 ・ 修 了 証 書 送 付 先	※送付希望先を選択ください 医療機関 ・ 自 宅
	〒 ー TEL :

※公共交通機関でのご来場にご協力ください

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

FAX (075) 354 - 6097



認知症対策通信

令和5年度かかりつけ医認知症対応力向上研修 (Web開催) 開催のご案内

本研修は、国が定める「認知症地域医療支援事業」の一環で、府医が京都府・京都市から委託を受けて実施しております。各地域において医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を図ることを目的とし、かかりつけ医として必要で適切な認知症診断の知識・技術などの習得に資する内容となっております。事前に収録した講演を前半 Part と後半 Part に分けて Web 配信をいたします。ご都合の良い日程を選択し、それぞれ1回ずつ受講してください。どちらかみの受講も可能ですが、日医かかりつけ医機能研修制度応用研修の単位付与はいたしかねます。単位が必要な方は、前半 Part・後半 Part それぞれ受講をお願いいたします。

なお、本研修会は厚生労働省が「認知症地域医療支援事業実施要綱」に定めます「かかりつけ医認知症対応力向上研修」のカリキュラムに則って毎年開催しております。年度ごとに収録しておりますが、内容はカリキュラムに沿って昨年度と同様の内容となりますことをご了承ください。

【前半 Part】

と き	①8月17日(木) 午後6時～午後8時 ②10月7日(土) 午後2時～午後4時 ③11月16日(木) 午後6時～午後8時 ④2024年2月10日(土) 午後2時～午後4時
と ころ	※ Zoom による Web 配信
内 容	「基本知識」「診療における実践」
講 師	北山病院 院長 澤田 親男 氏 (認知症サポート医幹事) ※前半 Part ①②③④は同じ内容です。

【後半 Part】

と き	①8月31日(木) 午後6時～午後7時30分 ②10月14日(土) 午後2時～午後3時30分 ③12月7日(木) 午後6時～午後7時30分 ④2024年3月2日(土) 午後2時～午後3時30分
と ころ	※ Zoom による Web 配信
内 容	I 「かかりつけ医の役割」 II 「地域・生活における実践」
講 師	I はやし神経内科 院長 林 理之 氏 (認知症サポート医幹事) II 京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学 精神医学教室 教授 成本 迅 氏 (認知症サポート医幹事) ※後半 Part ①②③④は同じ内容です

対 象 府医会員，会員医療機関の医師，勤務医，看護師，介護職，福祉職，行政職等

参加費 無料 ※ Web 会議システム Zoom ウェビナー を用います。

修了証 Zoom ウェビナーの入退室管理により前半 Part，後半 Part 両方の出席が確認できた方に，受講票フォームをメールにて送付させていただき，ご提出いただいた受講票フォームの回答を，京都府または京都市へ提供し，いずれかから修了証が発行されます。

申し込み 申し込み方法はホームページ申し込みフォームのみとなります。

問い合わせ 京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
(TEL：075-354-6079 / FAX：075-354-6097)
メール zaitaku@kyoto.med.or.jp

日医生涯教育カリキュラムコード

【前半 Part】

29. 認知能の障害（2単位）

※「地域包括診療加算」および「地域包括診療料」の施設基準における「慢性疾患の指導に係る適切な研修」の一部，「29. 認知能の障害」に該当します。

【後半 Part】

4. 医師－患者関係とコミュニケーション（0.5単位）

13. 医療と介護および福祉の連携（1単位）

日医かかりつけ医機能研修制度

【応用研修】1単位

※前半 Part，後半 Part 共に出席確認ができた方のみに付与いたします。

※受講確認のため，1人1台の通信端末（PC等）で参加いただく必要がございます。

※入退室時間の記録をいたします。遅刻や途中退出されますと単位が付与されない場合がございます。お時間にご留意ください。

当日はネット環境が整った場所でご覧くださいますよう，
何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 申し込み方法について

右記のQRコードをお持ちのスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、申し込みフォームが表示されます。または、検索エンジンにて「京都在宅医療」で検索し、当センターホームページからお申し込みできます。



研修会前日に「zaitaku@kyoto.med.or.jp」より資料、「no-reply@zoom.us」より研修会聴講URLが届きます。迷惑メールの設定をされている方は、「zaitaku@kyoto.med.or.jp」「no-reply@zoom.us」を設定から外していただきますようお願いいたします。届かなかった場合はお手数ですが、迷惑メールフォルダをご確認いただき、無かった場合は075-354-6079までお電話ください。

ご不明点がございましたら当センターまで、ご連絡ください。

京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
TEL : 075 - 354 - 6079

京都府医師会会員の皆様へ ～ぜひ お問い合わせください～

<中途加入も可能です>

医師賠償責任保険制度(100万円保険)

【医師賠償責任保険・医療施設賠償責任保険】

本保険制度は、日本医師会医師賠償責任保険および特約保険の免責金額である100万円部分の補償ならびに施設に関わる賠償責任をカバーする医療施設賠償責任保険が付帯されたもので、日本医師会医師賠償責任保険制度を補完することを目的として発足いたしました。

加入タイプⅠ（医師賠償責任保険、医療施設賠償責任保険）

【加入者】	京都府医師会会員
【被保険者* （医師賠償責任保険）】	京都府医師会会員である診療所の開設者個人、京都府医師会会員を理事長もしくは管理者として診療所を開設する法人
【被保険者* （医療施設賠償責任保険）】	①京都府医師会会員、及びその者が理事長もしくは管理者として診療所を開設する法人（記名被保険者） ②①の使用人、その他の業務の補助者

加入タイプⅡ（医師賠償責任保険）

【加入者（被保険者*）】	京都府医師会会員である勤務医師 法人病院や法人診療所の管理者である医師個人
--------------	--

*対象事故が起こった場合に補償の対象となる方

年間
保険
料

加入タイプⅠ…6,980円・加入タイプⅡ…4,010円ですが、
中途加入の場合は保険料が変わりますので代理店にご連絡ください。

※各タイプの補償内容はパンフレットをご覧ください。

※ご加入者数により、保険料の引き上げ等の変更をさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

医師賠償責任保険に個人を被保険者としてご加入の場合、刑事弁護士費用担保特約が付帯されます。

このご案内は、医師賠償責任保険、医療施設賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら代理店または保険会社におたずねください。

【契約者】 一般社団法人 京都府医師会

【取扱代理店】 東京海上日動代理店 有限会社 ケーエムエー

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会館内

TEL 075-354-6117 FAX 075-354-6497

【引受保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社 担当課：京都支店営業課

〒600-8570 京都市下京区四条富小路角

2023年3月1日作成 22TC-102006

京都医報 No.2257

発行日 令和5年11月15日

発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6

TEL 075-354-6101

E-mail kma26@kyoto.med.or.jp

ホームページ <https://www.kyoto.med.or.jp>

発行人 松井 道宣

編集人 田村 耕一

印刷所 株式会社ティ・プラス



発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東栞尾町6 TEL 075-354-6101

発行人 松井道宣 編集人 田村耕一